施策評価シート

記載年月	平成27年9月
対象年度	平成26年度

1　施策の名称・めざす姿

施策名	060	計画的な土地利用の推進			
総合計画	基本目標	Ⅳ	人を魅了するにぎわいと活力のあるまち（都市基盤・産業）	主担当部課名	都市整備部 計画課
	基本施策	01	計画的なまちづくりの推進		
めざす姿	自然環境などに配慮した快適なまちづくりが計画的に進められ、市民・事業者との協働による地域の特性を活かした、調和の取れた適切な土地利用がなされています。また、市民の主体的なまちづくり活動を支援することにより、市民発意による良好なまちが形成されています。				

2　事業費・人件費等の推移

（単位：円、人）

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
（事業費）						
当初予算額	16,349,000	16,667,000	18,278,000			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	700,000	0	0			
市債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	15,649,000	16,667,000	18,278,000			
予算現額	16,349,000	14,667,000	0			
決算額	13,757,998	14,164,732	0			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	787,500	0	0			
市債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	12,970,498	14,164,732	0			
執行率	84.2	96.6	0.0			
（人件費）						
職員数	6.50	6.62	0.00			
職員人件費	51,950,392	49,912,461	0			
嘱託員数	0.00	0.00	0.00			
嘱託員人件費	0	0	0			
（間接経費）						
間接経費	9,241	6,453	0			
総コスト	65,717,631	64,083,646	0			

3　指標実績の推移等

指標名	基準値（単位）		実績の推移 H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H29年度目標値
①地区計画の決定地域の累積面積	61.5	実績	73.4	－	－	－	76.5
	ha	達成率	95.9	0.0	0.0	0.0	
②活動助成団体数及び専門家の累計派遣団体数	1	実績	2	－	－	－	3
	団体	達成率	66.7	0.0	0.0	0.0	
③市民と市が協働するまちづくりに満足している市民の割合	6	実績	12.1	－	－	－	8
	%	達成率	151.3	0.0	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

住みよいまちづくりの実現に向け、地区計画の策定を行っていくとともに、市民との協働でまちづくりを進めていくため、まちづくり活動への助成を行い、市民との協働による計画的なまちづくりの推進に対する満足度についても増加を目指しており、目標達成に向けて関連事業を順調に進めている。

４　施策の進ちょく状況

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
進ちょく状況	目標達成に向け順調に進ちょくしている			
達成できている点	・地区計画の原案の作成等を行うまちづくり活動団体に対して、活動支援のＰＲを行い、地区計画の作成に向けた検討を進めた。 ・市民との協働によるまちづくりの満足度の増加に向けて、地域特性を活かしたまちづくりを今後も進める。			
達成できていない点				

５　施策の評価

これまでの主な取組と成果

市民のまちづくり活動に対して技術的支援を行うため、平成２１年度に府中市まちづくり活動支援要綱を策定し、まちづくり活動助成事業を進めており、地区計画の見直し等を行う団体やエリアマネジメントを進める団体に支援を行ってきた。

今後の課題、状況や市民ニーズの変化

市民に対して、市民主体のまちづくり活動の必要性などを広く周知し、柔軟できめの細かい支援をする必要がある。

今後の展開

まちづくり活動支援事業を周知するため、地元の会合に参加するなど、まちづくり活動のきっかけづくりをするとともに、市民の主体的なまちづくり活動を支援することにより市民発意による良好なまちを形成していく。

６　主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	４か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
市街地整備計画作成事業	・都市計画マスタープランの評価に向けた検討 ・都市計画ＧＩＳの整備推進 ・地域地区の見直し	・都市計画マスタープランの評価及び改定に向けた検討 ・都市計画ＧＩＳの整備推進 ・地域地区の見直し	・都市計画マスタープランの改定に向けた検討 ・都市計画ＧＩＳの整備推進 ・地域地区の見直し	・都市計画マスタープランの改定に向けた調整 ・都市計画ＧＩＳの整備推進 ・地域地区の見直し
所管部署	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちょくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
都市整備部 計画課	都市計画マスタープランの見直しに向けた関連施策等の評価に係る検討など計画どおり進めた。			
事業種別				
主要な事務事業				
４か年事業費計（単位：千円）				
47,652				
地域まちづくり事業	・まちづくり専門家派遣事業の推進 ・まちづくり誘導地区の選定・検討	・まちづくり専門家派遣事業の推進 ・まちづくり誘導地区の選定・検討	・まちづくり専門家派遣事業の推進 ・まちづくり誘導地区の選定・検討	・まちづくり専門家派遣事業の推進 ・まちづくり誘導地区の選定・検討
所管部署	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
都市整備部 計画課	まちづくり活動団体に対し専門家の派遣を行い地域住民が主体となったまちづくりを進めているが、新たにまちづくり誘導地区の指定を行う対象地区は該当が無かった。			
事業種別				
主要な事務事業				
４か年事業費計（単位：千円）				
4,220				
まちづくり活動助成事業	・まちづくり活動団体への助成	・まちづくり活動団体への助成	・まちづくり活動団体への助成	・まちづくり活動団体への助成
所管部署	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
都市整備部 計画課	まちづくり活動団体に対しＰＲ活動を行い支援の申請はあったものの、助成対象となる請求が無かった。			
事業種別				
主要な事務事業				
４か年事業費計（単位：千円）				
800				

※４か年事業費計は、第６次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。
　また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7　構成事務事業の評価

（単位：円）

	事務事業名	事業種別	人件費事業	H26年度 当初予算額	H26年度 決算額	H27年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業評価/総合評価	
1	都市計画施策推進事業	30		1,116,000	1,020,018	1,108,000	府中市都市計画審議会の運営	B	1
2	市街地整備計画作成事業	20		12,454,000	12,217,440	14,248,000	都市計画に関する各種計画を検討し立案する。	A	
3	地域まちづくり事業	30		3,047,000	927,274	2,872,000	計画的なまちづくりを誘導するとともに市民主体のまちづくり活動を支援する。	B	1
4	まちづくり活動助成事業	30		50,000	0	50,000	地区計画原案の作成などを行う「まちづくり活動団体」に対し、助成を行う。	B	1
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
合　　計				16,667,000	14,164,732	18,278,000			

施策評価シート

記載年月	平成27年9月
対象年度	平成26年度

1　施策の名称・めざす姿

施策名	061	良好な開発事業の誘導		
総合計画	基本目標	Ⅳ	人を魅了するにぎわいと活力のあるまち（都市基盤・産業）	主担当部課名：都市整備部 計画課
	基本施策	01	計画的なまちづくりの推進	
めざす姿	府中市地域まちづくり条例に基づき、まちの環境に大きな影響を与える大規模な土地取引の動向を把握し、まちづくりの方針に基づいた適正な土地利用の開発事業が行われ、景観と周辺の環境に配慮した良好なまちが形成されています。			

2　事業費・人件費等の推移

（単位：円、人）

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
（事業費）						
当初予算額	4,268,000	4,181,000	4,922,000			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	52,000	82,000	58,000			
市債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	4,216,000	4,099,000	4,864,000			
予算現額	4,268,000	4,479,000	0			
決算額	3,515,713	3,609,905	0			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	58,000	55,000	0			
市債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	3,457,713	3,554,905	0			
執行率	82.4	80.6	0.0			
（人件費）						
職員数	4.02	3.66	0.00			
職員人件費	32,114,788	27,630,112	0			
嘱託員数	0.00	0.00	0.00			
嘱託員人件費	0	0	0			
（間接経費）						
間接経費	5,711	3,569	0			
総コスト	35,636,212	31,243,586	0			

3　指標実績の推移等

指標名	基準値（単位）		実績の推移 H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H29年度目標値
①開発事業と併せて地区計画等を決定した累計件数（件）	14	実績	25	－	－	－	26
	件	達成率	96.2	0.0	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

引き続き、開発事業者に対し、土地利用方針に基づいた計画的な開発事業への誘導を行い、目標達成に向けて事業を進めて行く。

4　施策の進ちょく状況

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
進ちょく状況	目標達成に向け順調に進ちょくしている			
達成できている点	良好な開発事業の誘導			
達成できていない点				

5　施策の評価

これまでの主な取組と成果

府中市地域まちづくり条例に基づき、まちの環境に大きな影響を与える可能性のある大規模な土地取引の動向を把握し、まちづくりの方針に基づき、適正な土地利用と周辺環境に配慮した良好な開発事業を誘導してきた。引き続き、目標達成に向けて、適正な誘導を行う。

今後の課題、状況や市民ニーズの変化

府中市地域まちづくり条例の規定に基づき、市内における開発事業に対し、周辺環境に配慮しつつ、府中市都市計画に関する基本的な方針に可能な限り沿った開発事業となるよう誘導する必要があり、市民と事業者との協働による開発事業地周辺のまちづくりが求められている。

今後の展開

今後も府中市地域まちづくり条例の規定に基づき、府中市都市計画に関する基本的な方針に沿った適正な土地利用と景観や周辺環境に配慮した良好な開発事業となるよう誘導するとともに、市民と事業者との協働による開発事業地周辺のまちづくりを推進する。

６　主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	４か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
開発誘導事業	・まちづくり方針に基づき、適正な土地利用と周辺環境に配慮した良好な開発事業への誘導	・まちづくり方針に基づき、適正な土地利用と周辺環境に配慮した良好な開発事業への誘導	・まちづくり方針に基づき、適正な土地利用と周辺環境に配慮した良好な開発事業への誘導	・まちづくり方針に基づき、適正な土地利用と周辺環境に配慮した良好な開発事業への誘導
所管部署	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちょくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
都市整備部 計画課	まちづくり方針に基づき、適正な土地利用と周辺環境に配慮した良好な開発事業を誘導してきた。引き続き、目標達成に向けて、適正な指導を行う。			
事業種別				
主要な事務事業				
４か年事業費計（単位：千円）				
12,644				
所管部署	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
事業種別				
４か年事業費計（単位：千円）				
所管部署	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
事業種別				
４か年事業費計（単位：千円）				

※４か年事業費計は、第６次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。
　また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7　構成事務事業の評価

（単位：円）

	事務事業名	事業種別	人件費事業	H26年度 当初予算額	H26年度 決算額	H27年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業評価/総合評価	
1	建築紛争調停委員会運営事業	30		131,000	14,100	131,000	府中市建築紛争調停委員会の運営	B	1
2	土地利用景観調整審査会運営事業	30		865,000	517,844	1,573,000	府中市土地利用調整審査会の運営	B	1
3	土地取引事務	10		104,000	91,416	103,000	国土利用計画法に基づく土地売買等の届出に伴う経由事務	B	1
4	開発誘導事業	30		3,081,000	2,986,545	3,115,000	土地利用方針に基づいた良好な開発事業へと誘導する。	B	1
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
合　　計				4,181,000	3,609,905	4,922,000			

施策評価シート

記載年月	平成27年9月
対象年度	平成26年度

1　施策の名称・めざす姿

施策名	062	震災に対応した建築物の誘導			
総合計画	基本目標	Ⅳ	人を魅了するにぎわいと活力のあるまち（都市基盤・産業）	主担当部課名	都市整備部 建築指導課
	基本施策	01	計画的なまちづくりの推進		
めざす姿	市民が震災に備える意識を高く持ち建築物の耐震化・防火化を進めることにより、震災に対応した建築物が増え、災害に強いまちづくりが進んでいます。				

2　事業費・人件費等の推移

（単位：円、人）

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
（事業費）						
当初予算額	372,207,000	542,568,000	823,993,000			
国庫支出金	151,943,000	220,531,000	332,342,000			
都支出金	142,595,000	205,856,000	314,634,000			
市債	0	0	0			
その他	177,000	0	0			
一般財源	77,492,000	116,181,000	177,017,000			
予算現額	70,380,000	199,791,000	0			
決算額	63,282,000	189,608,262	0			
国庫支出金	26,865,000	79,476,000	0			
都支出金	17,617,000	68,665,000	0			
市債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	18,266,000	41,467,262	0			
執行率	89.9	94.9	0.0			
（人件費）						
職員数	2.90	2.85	0.00			
職員人件費	23,177,867	21,493,896	0			
嘱託員数	0.00	0.00	0.00			
嘱託員人件費	0	0	0			
（間接経費）						
間接経費	196,733	185,072	0			
総コスト	86,656,600	211,287,230	0			

3　指標実績の推移等

指標名	基準値（単位）		実績の推移 H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H29年度目標値
①住宅耐震化率	84.9	実績	90.2	－	－	－	92
	%	達成率	98.0	0.0	0.0	0.0	
②緊急輸送道路沿道建築物耐震化率	－	実績	－	－	－	－	94
	%	達成率	0.0	0.0	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

住宅の耐震化率は目標値の達成に向けて、耐震化は順調に推移している。なお、特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化率は全沿道建築物の調査を実施中である。

４　施策の進ちょく状況

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
進ちょく状況	目標達成に向け順調に進ちょくしている			
達成できている点	住宅の耐震化については、耐震化率の目標値の達せに向けて順調に推移している。 特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化については、全ての対象建築物の耐震診断に着手した。			
達成できていない点	特定緊急輸送道路の沿道建築物の耐震化については、耐震診断は概ね完了したものの、補強設計、耐震改修等への移行がやや遅れている。			

５　施策の評価

これまでの主な取組と成果

住宅の耐震化については、耐震診断、改修、耐震建替等の費用の助成を継続して実施している。
これまでの無料簡易耐震診断事業をさらに拡充させた木造住宅耐震アドバイザー派遣事業を実施し、２００件の住宅にアドバイザーを派遣するとともに、全ての旧耐震基準木造住宅戸へ普及啓発資料の配布を行った成果として、耐震診断・改修の助成申請件数が増加した。
特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化については、全ての対象建築物において耐震診断に着手しており、現在のところ、対象建築物４４棟のうち、１７棟について、耐震改修、除却等が実施され、耐震性が確保されている。

今後の課題、状況や市民ニーズの変化

旧耐震基準の木造戸建て住宅の耐震化については、木造住宅耐震アドバイザーの派遣、啓発資料の全戸配布などにより、一定数の需要を堀り出したものと思われるため、今後は、更なる市民ニーズを把握するとともに、新たな助成制度の検討が必要である。
特定緊急輸送道路の沿道建築物の耐震化については、耐震診断から補強設計、耐震改修へ移行できない課題について、建築物ごとに抽出・整理し、所有者等に対し、改善に向けた提案が必要である。

今後の展開

住宅については、更なる普及啓発活動及び市民ニーズを把握するとともに、木造住宅密集地域及び特定緊急道路以外の沿道建築物の耐震化など、それぞれの地域単位に応じた新たな施策等の検討を行う。
特定緊急輸送道路の沿道建築物については、概ね耐震診断が完了したことから、今後は、全ての建築物所有者への個別訪問を繰り返し、建築物ごとの課題の抽出及び整理を行い、耐震化を根気強く促す必要がある。
また、住宅及び沿道建築物について、助成制度の延長・拡充を国・都へ要望していく。

６　主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	４か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
建築物耐震化促進事業	・耐震化普及啓発イベント、無料耐震相談会の実施 ・旧耐震の木造住宅へ普及啓発資料の全戸配布 ・木造住宅無料耐震アドバイザーの派遣 ・木造住宅の耐震診断、改修費用の助成 ・特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震診断・補強設計・耐震改修等の費用助成	・耐震化普及啓発イベント、無料耐震相談会の実施 ・木造住宅無料耐震アドバイザーの派遣 ・木造住宅の耐震診断、改修費用の助成 ・特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震診断・補強設計・耐震改修等の費用助成	・耐震化普及啓発イベント、無料耐震相談会の実施 ・木造住宅無料耐震アドバイザーの派遣 ・木造住宅の耐震診断、改修費用の助成 ・特定緊急輸送道路沿道建築物の補強設計・耐震改修等の費用助成	・耐震化普及啓発イベント、無料耐震相談会の実施 ・木造住宅無料耐震アドバイザーの派遣 ・木造住宅の耐震診断、改修費用の助成 ・特定緊急輸送道路沿道建築物の補強設計・耐震改修等の費用助成
所管部署	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちょくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
都市整備部 建築指導課	旧耐震木造住宅への普及啓発資料の全戸配布及び木造住宅耐震アドバイザー派遣の成果として、耐震化が進んだ。特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化については、全ての建築物で耐震診断に着手されたものの、補強設計、耐震改修等について一定の成果があったが、目標値には達していない。			
事業種別				
重点プロジェクト				
４か年事業費計（単位：千円）				
1,210,778				
	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署				
事業種別				
４か年事業費計（単位：千円）				
	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署				
事業種別				
４か年事業費計（単位：千円）				

※４か年事業費計は、第６次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。
　また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7　構成事務事業の評価

（単位：円）

	事務事業名	事業種別	人件費事業	H26年度 当初予算額	H26年度 決算額	H27年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業評価/総合評価	
1	建築物耐震化促進事業	30		542,568,000	189,608,262	823,993,000	耐震化に向けた普及啓発活動や耐震化に係る費用助成により、建築物の耐震化を促進する。	A	
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
合　　計				542,568,000	189,608,262	823,993,000			

施策評価シート

記載年月	平成27年9月
対象年度	平成26年度

1　施策の名称・めざす姿

施策名	063	質の高い建築物の確保			
総合計画	基本目標	Ⅳ	人を魅了するにぎわいと活力のあるまち（都市基盤・産業）	主担当部課名	都市整備部 建築指導課
	基本施策	01	計画的なまちづくりの推進		
めざす姿	災害に強い安全で安心なまちづくりを推進するため、市民や事業者が良好な建築行為の確保に努めています。また、建築物の長寿命化や省エネルギー化、低炭素化の促進を図るなど、環境に配慮したまちづくりに市と協働で取り組んでいます。				

2　事業費・人件費等の推移

（単位：円、人）

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
（事業費）						
当初予算額	7,052,000	6,843,000	11,973,000			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	190,000	193,000	164,000			
市債	0	0	0			
その他	6,862,000	6,650,000	6,626,000			
一般財源	0	0	5,183,000			
予算現額	7,094,000	6,843,000	0			
決算額	6,058,930	6,288,011	0			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	160,035	177,704	0			
市債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	2,109,900	0	0			
執行率	85.4	91.9	0.0			
（人件費）						
職員数	10.90	10.75	0.00			
職員人件費	87,116,811	81,073,469	0			
嘱託員数	0.00	0.00	0.00			
嘱託員人件費	0	0	0			
（間接経費）						
間接経費	739,450	698,083	0			
総コスト	93,915,191	88,059,563	0			

3　指標実績の推移等

指標名	基準値（単位）		実績の推移 H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H29年度目標値
①検査済証交付率	98.1	実績	70.58	－	－	－	100
	%	達成率	70.6	0.0	0.0	0.0	
②長期優良住宅認定率	21.6	実績	25.31	－	－	－	40
	%	達成率	63.3	0.0	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

検査済証交付率：建築確認済の建築物で検査済証の交付を受けた件数は、現在工事中の建築物もあるため、今後増加することが見込まれる。
長期優良住宅認定率：市民への長期優良住宅制度の認知度が低く、伸び悩んでいる傾向にある。

4　施策の進ちょく状況

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
進ちょく状況	目標達成に向け順調に進ちょくしている			
達成できている点	質の高い建築物の確保に努めるため、都及び近隣の特定行政庁と様々な課題等について意見調整及び交換会を実施している。また、指定確認検査機関と連携し適正な確認検査業務に努めている。			
達成できていない点	完了検査率の向上及び特殊建築物等の定期報告に係る是正については、今後も継続し啓発活動や指導を行っていく。また長寿命化や省エネルギー化、低炭素化に係る建築物の認定について、今後も推進していく。			

5　施策の評価

これまでの主な取組と成果

・特殊建築物の等の定期報告においては、是正の必要な建築物の所有者等に対して通知書を送付し、改善指導を行った。
・適正な建築行為の推進を図るために、民間指定確認検査機関の協議会を開催するとともに、都及び近隣の特定行政庁と意見交換を行った。
・認定に係る適正な審査及び事務の効率化を図るため、多摩地域の特定行政庁との連絡会を開催し、意見調整及び交換会を実施した。
・建築物の長寿命化や省エネルギー、低炭素化を促進するために、長期優良住宅及び低炭素住宅の認定に努めた。

今後の課題、状況や市民ニーズの変化

・完了検査率を向上させるため、建築主や工事施工業者に対して、啓発活動が必要である。
・特殊建築物等の定期報告に係る未報告者及び要是正事項が改善されない建築物の所有者等に対して指導が必要である。
・建築物の長寿命化、省エネルギー化及び低炭素化を促進する長期優良住宅及び低炭素住宅の認定制度が市民、事業者等に周知されていない。

今後の展開

・指定確認検査機関との連携を強化し、適正な確認検査業務を実施する。
・他の特定行政庁との連携を強化する。
・まちづくりと連携した認定制度等の活用を推進する。
・建築物の長寿命化、省エネルギー化及び低炭素化に係る建築物の認定制度の普及啓発を図る。

６　主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	４か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
特定行政庁所管事業	・違反建築を防止するため現場パトロールを定期的に実施する。 ・特殊建築物等の定期調査検査報告に係る未報告の督促及び改善指導を強化する。 ・建築主や工事施工者に対しハガキやチラシにより完了検査受検の周知徹底を図る。	・違反建築を防止するため現場パトロールを定期的に実施する。 ・特殊建築物等の定期調査検査報告に係る未報告の督促及び改善指導を強化する。 ・建築主や工事施工者に対しハガキやチラシにより完了検査受検の周知徹底を図る。	・違反建築を防止するため現場パトロールを定期的に実施する。 ・特殊建築物等の定期調査検査報告に係る未報告の督促及び改善指導を強化する。 ・建築主や工事施工者に対しハガキやチラシにより完了検査受検の周知徹底を図る。	・違反建築を防止するため現場パトロールを定期的に実施する。 ・特殊建築物等の定期調査検査報告に係る未報告の督促及び改善指導を強化する。 ・建築主や工事施工者に対しハガキやチラシにより完了検査受検の周知徹底を図る。
所管部署	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちょくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
都市整備部 建築指導課	・違反建築を防止するため現場パトロールを定期的に実施した。 ・特殊建築物等の定期調査検査報告に係る未報告については、督促を行い速やかに提出させた。			
事業種別				
主要な事務事業				
４か年事業費計（単位：千円）				
4,780				
建築指導事務	・建築基準法の適正な運用を図るための相談指導及び審査を行う。 ・建築基準法の適正な運用に係る最新の情報収集に努める。	・建築基準法の適正な運用を図るための相談指導及び審査を行う。 ・建築基準法の適正な運用に係る最新の情報収集に努める。	・建築基準法の適正な運用を図るための相談指導及び審査を行う。 ・建築基準法の適正な運用に係る最新の情報収集に努める。	・建築基準法の適正な運用を図るための相談指導及び審査を行う。 ・建築基準法の適正な運用に係る最新の情報収集に努める。
所管部署	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちょくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
都市整備部 建築指導課	・建築基準法の適正な運用を図るための相談指導及び審査を行った。 ・建築基準法の適正な運用に係る最新の情報収集に努めた。			
事業種別				
主要な事務事業				
４か年事業費計（単位：千円）				
25,212				
所管部署	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
事業種別				
４か年事業費計（単位：千円）				

※４か年事業費計は、第６次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。
　また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7　構成事務事業の評価

（単位：円）

	事務事業名	事業種別	人件費事業	H26年度 当初予算額	H26年度 決算額	H27年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業評価/総合評価	
1	特定行政庁所管事業	10		1,157,000	864,458	1,118,000	災害に強いまちづくりを推進するため建築物の安全性・安心性を確保し、適正な建築行為の推進に努	B	1
2	建築指導事務	10		5,686,000	5,423,553	10,855,000	建築物の長寿命化や省エネルギー化、低炭素化を促進し環境に配慮したまちづくりを推進する。	B	1
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
合　　計				6,843,000	6,288,011	11,973,000			

施策評価シート

記載年月	平成27年9月
対象年度	平成26年度

1　施策の名称・めざす姿

施策名	064	魅力ある景観の形成			
総合計画	基本目標	Ⅳ	人を魅了するにぎわいと活力のあるまち（都市基盤・産業）	主担当部課名	都市整備部 計画課
	基本施策	01	計画的なまちづくりの推進		
めざす姿	市民の景観に対する理解が深まり、市民や事業者と連携し、守り育てた地域の特徴を活かした優れた景観があります。また、市民の生活にやすらぎと潤いを与え、市民が愛着を持つ魅力ある緑豊かな景観が形成されています。				

2　事業費・人件費等の推移

（単位：円、人）

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
（事業費）						
当初予算額	6,715,000	5,998,000	2,014,000			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	0	0	0			
市債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	6,715,000	5,998,000	2,014,000			
予算現額	6,715,000	5,700,000	0			
決算額	5,165,549	4,571,105	0			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	0	0	0			
市債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	5,165,549	4,571,105	0			
執行率	76.9	80.2	0.0			
（人件費）						
職員数	2.13	1.18	0.00			
職員人件費	17,001,946	8,912,939	0			
嘱託員数	0.00	0.00	0.00			
嘱託員人件費	0	0	0			
（間接経費）						
間接経費	3,024	1,151	0			
総コスト	22,170,519	13,485,195	0			

3　指標実績の推移等

指標名	基準値（単位）		実績の推移 H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H29年度目標値
①まちなみや景観がよく保全されていると感じている市民の割合（%）	58.8	実績	51.2	－	－	－	65
	%	達成率	78.8	0.0	0.0	0.0	
②開発事業等における景観協定累計面積（ｈａ）	23.2	実績	24.9	－	－	－	26
	ha	達成率	95.8	0.0	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

引き続き、事業者と協議、指導を行い、良好な景観形成を誘導し、市民が愛着を持つような景観を目指し、目標達成に向けて事業を進めていく。

４　施策の進ちょく状況

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
進ちょく状況	目標達成に向け順調に進ちょくしている			
達成できている点	府中市景観計画に沿った良好な景観の誘導			
達成できていない点				

５　施策の評価

これまでの主な取組と成果

府中市景観条例の改正により、平成２０年度から府中市景観計画に沿った良好な景観の誘導が可能となり、景観ガイドライン（色彩編）（屋外広告物編）（緑化編）（中高層建築物等編）（住宅地開発編）の策定を行い運用してきた。平成２４年度は景観ガイドライン（歴史的建造物等編）の策定に向け検討を行った　また、地域の方々が魅力的な景観形成を行うことを目的とし、景観協定１地区の認可を行っている。平成２４年度は景観協定１地区の認可を行ったことで、合計９地区となった。景観協定普及及び啓発のためのパンフレットを作成し、運用している。平成２１年度には第2回景観賞及びシンポジウムを開催し、市民や事業者に対し、良好な景観形成の意識啓発に努めた。平成２４年度は市民の景観に対する意識啓発の継続のため、景観まちづくり学習を行った。平成２５年度は府中まちなみ探偵団を実施し、景観に対する関心と子供の視点を今後の活動に生かすため作品を募集し、けやきフェスタの際にフォーリス１階で写真や絵画の展示を行った。また、景観協定を新たに２地区認可を行い、合計１１地区となった。平成２６年度は小学生を対象にまちなみ絵画を募集し、府中市美術館に展示を行った。

今後の課題、状況や市民ニーズの変化

景観の取組を常に市民・事業者などに発信し、市民の景観に対する意識啓発を行い、良好な景観の形成を誘導する必要がある。　景観計画に示す景観形成推進地区ごとの景観まちづくりのルールを地域住民の合意形成を図りながら示す必要がある。このことから、府中市のシンボルであるケヤキ並木沿道の景観形成について、関係各課と連携しながら進める必要がある。

今後の展開

今後も、府中市景観計画及び府中市景観条例に基づき、良好な景観形成を推進するための施策を展開し、良好な土地利用となるよう景観ガイドラインにより、開発事業を誘導する。また、市民の更なる意識啓発のきっかけづくりとしての景観賞及びシンポジウムなどのあり方について検討するとともに、まちづくり学習を実施し、市民、事業者の意識啓発を行う。
さらに、馬場大門のケヤキ並木沿道なども含めた屋外広告物のあり方も検討し、計画的な誘導を図る必要がある。

６　主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	４か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
景観施策推進事業	・府中市景観計画に沿った良好なまちづくりへの誘導	・府中市景観計画に沿った良好なまちづくりへの誘導	・府中市景観計画に沿った良好なまちづくりへの誘導	・府中市景観計画に沿った良好なまちづくりへの誘導
所管部署：都市整備部 計画課 事業種別：主要な事務事業 ４か年事業費計（単位：千円）：30,736	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちょくしている 平成２６年度は、小学生を対象に、まちなみ絵画を募集し、府中市美術館に展示を行い、景観への意識の啓発を行った。	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署： 事業種別： ４か年事業費計（単位：千円）：	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署： 事業種別： ４か年事業費計（単位：千円）：	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】

※４か年事業費計は、第６次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。
　また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7　構成事務事業の評価

（単位：円）

	事務事業名	事業種別	人件費事業	H26年度 当初予算額	H26年度 決算額	H27年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業評価/総合評価	
1	景観施策推進事業	20		5,998,000	4,571,105	2,014,000	府中市景観計画に基づき良好な景観形成を推進する	B	1
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
合　　計				5,998,000	4,571,105	2,014,000			

施策評価シート

記載年月	平成27年9月
対象年度	平成26年度

1　施策の名称・めざす姿

施策名	065	駅周辺整備事業の計画的推進			
総合計画	基本目標	Ⅳ	人を魅了するにぎわいと活力のあるまち（都市基盤・産業）	主担当部課名	都市整備部 地区整備課
	基本施策	02	まちの拠点整備		
めざす姿	府中駅周辺は、中心拠点にふさわしい商業・業務・公共の核施設が整備され、市の緑、歴史、文化を象徴する国指定天然記念物「馬場大門のケヤキ並木」と調和した魅力あるまちづくりが、市民の憩いの空間を創出し、多くの人が集い、にぎわいを見せています。				

2　事業費・人件費等の推移

（単位：円、人）

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
（事業費）						
当初予算額	6,836,203,000	4,481,273,000	4,140,649,000			
国庫支出金	2,825,860,000	2,080,146,000	2,309,180,000			
都支出金	980,680,000	593,625,000	729,659,000			
市債	871,000,000	857,000,000	484,000,000			
その他	2,012,489,000	261,643,000	202,450,000			
一般財源	146,174,000	688,859,000	415,360,000			
予算現額	7,114,903,000	4,011,827,000	0			
決算額	7,114,800,957	4,011,794,335	0			
国庫支出金	2,764,992,000	1,912,464,000	0			
都支出金	1,014,870,000	548,726,000	0			
市債	930,000,000	725,000,000	0			
その他	930,000,000	725,000,000	0			
一般財源	392,532,000	563,993,378	0			
執行率	100.0	100.0	0.0			
（人件費）						
職員数	9.00	8.00	0.00			
職員人件費	71,931,312	60,333,744	0			
嘱託員数	0.00	0.00	0.00			
嘱託員人件費	0	0	0			
（間接経費）						
間接経費	892,575	724,230	0			
総コスト	7,187,624,844	4,072,852,309	0			

3　指標実績の推移等

指標名	基準値（単位）		実績の推移 H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H29年度目標値
①府中駅南口地区第一種市街地再開発事業の進ちょく率	70	実績	70	－	－	－	100
	%	達成率	70.0	0.0	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

府中駅南口地区第一種市街地再開発事業では、第二地区及び第三地区が完了しており、残る第一地区の事業完了を平成２９年度末とし、事業を推進している。

４　施策の進ちょく状況

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
進ちょく状況	やや遅れているが、概ね順調			
達成できている点	既存建物解体・除却・整地工事は、建物の明渡しの遅れから契約期間を２か月延伸し、工事が完了した。その影響から、施設建築物及び公共施設工事にやや遅れが生じているが、平成２８年度末の竣工を目指し、工事を進めている。			
達成できていない点	埋蔵文化財発掘調査は、想定以上の出土品があったため整理作業等に時間を要し、契約期間を７か月延伸したが、工事への影響は出ていない。			

５　施策の評価

これまでの主な取組と成果

府中駅南口第一地区市街地再開発組合に対し各種支援を行った。
（同組合は、東京都から平成２５年９月に権利変換計画の認可を受け、同年１１月より既存建物解体・除却・整地工事、埋蔵文化財発掘調査、施設建築物及び公共施設工事に着手し、平成２６年度も引き続き調査、工事を進め、平成２８年度末の工事竣工を目指し、事業を推進している。）

今後の課題、状況や市民ニーズの変化

府中駅南口第一地区市街地再開発組合を支援し、府中駅南口第一地区市街地再開発事業の完了を目指す。

今後の展開

府中駅南口第一地区の再開発事業が完了することにより、既に完了している第二・第三地区と合わせ府中駅南口地区第一種市街地再開発事業の完了を目指す。

６　主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	４か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
府中駅南口再開発推進事業	・第一地区市街地再開発組合の支援 ・埋蔵文化財発掘調査 ・既存建物解体・除却・整地 ・施設建築物及び公共施設工事	・第一地区市街地再開発組合の支援 ・施設建築物及び公共施設工事	・第一地区市街地再開発組合の支援 ・施設建築物及び公共施設工事	・第一地区市街地再開発組合の支援 ・施設建築物及び公共施設工事
所管部署 都市整備部 地区整備課 事業種別 重点プロジェクト ４か年事業費計（単位：千円） 13,105,965	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調 既存建物の明渡しが遅れ、建物解体・除却・整地の契約期間を延伸したため、施設建築物及び公共施設工事に約４か月の遅れが生じている。埋蔵文化財発掘調査では、想定以上の出土品があり、整理作業等に時間を要したため、契約期間を延伸した。	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署 事業種別 ４か年事業費計（単位：千円）	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署 事業種別 ４か年事業費計（単位：千円）	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】

※４か年事業費計は、第６次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。
　また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7　構成事務事業の評価

（単位：円）

	事務事業名	事業種別	人件費事業	H26年度 当初予算額	H26年度 決算額	H27年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業評価/総合評価	
1	府中駅南口再開発推進事業	10		4,406,333,000	3,947,254,557	4,140,644,000	府中駅南口第一地区市街地再開発事業	B	1
2	区画整理事業	20		74,940,000	64,539,778	5,000	府中市日新町四丁目土地区画整理事業	D	3
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
合　　計				4,481,273,000	4,011,794,335	4,140,649,000			

施策評価シート

記載年月	平成27年9月
対象年度	平成26年度

1　施策の名称・めざす姿

施策名	066	けやき並木と調和したまちづくりの推進			
総合計画	基本目標	Ⅳ	人を魅了するにぎわいと活力のあるまち（都市基盤・産業）	主担当部課名	都市整備部 計画課
	基本施策	02	まちの拠点整備		
めざす姿	市のシンボルである「国指定天然記念物馬場大門のケヤキ並木」を次世代に継承するため、けやき並木が良好な状態で保護されています。また、けやき並木周辺が安全で快適な空間となり、多くの人々が集い、憩い、けやき並木周辺ににぎわいが生まれています。				

2　事業費・人件費等の推移

（単位：円、人）

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
（事業費）						
当初予算額	40,766,000	37,163,000	36,979,000			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	17,200,000	0	0			
市債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	23,566,000	37,163,000	36,979,000			
予算現額	25,759,000	32,471,000	0			
決算額	17,527,577	30,392,345	0			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	6,230,000	0	0			
市債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	11,297,577	30,392,345	0			
執行率	68.0	93.6	0.0			
（人件費）						
職員数	2.46	3.78	0.00			
職員人件費	19,661,225	28,521,406	0			
嘱託員数	0.00	0.00	0.00			
嘱託員人件費	0	0	0			
（間接経費）						
間接経費	87,710	125,387	0			
総コスト	37,276,512	59,039,138	0			

3　指標実績の推移等

指標名	基準値（単位）		実績の推移 H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H29年度目標値
①次世代に古木となるけやき後継樹の本数	203	実績	182	－	－	－	157
	本	達成率	115.9	0.0	0.0	0.0	
②けやき並木周辺における来場満足率	－	実績	6.9	－	－	－	20
	%	達成率	34.5	0.0	0.0	0.0	
③けやき並木通り沿道建築物の壁面後退の割合	40	実績	43.9	－	－	－	50
	%	達成率	87.8	0.0	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

けやき並木周辺を安全で快適な空間とするため、けやき並木を活用し、にぎわいと魅力あふれる街づくりの推進に向けて、事業を順調に進めている。指標については、平成２９年度に向けて順調な数値を示している。

４　施策の進ちょく状況

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
進ちょく状況	目標達成に向け順調に進ちょくしている			
達成できている点	けやき並木周辺整備事業は、宮西町道路整備計画に基づき、整備を進めてきた。馬場大門ケヤキ並木保護対策事業は、ケヤキの生育環境の改善を図った。けやき並木通り車両交通規制事業は、規制区間の延伸について、近隣住民の理解も得られたことから、６月より延伸規制を開始。			
達成できていない点	けやき並木周辺整備事業は、未買収用地があるため、引き続き用地交渉をしていく。馬場大門ケヤキ並木保護対策事業では、水ストレス対策は、実施せず。けやき並木通り車両交通規制事業は、交通規制の日時拡大を視野に入れ、車両交通規制の周知徹底の必要がある。			

５　施策の評価

これまでの主な取組と成果

・けやき並木周辺整備事業は、宮西町地区道路整備計画に基づき、市道4-11,12,14号の一部について道路整備を行った。
宮西町地区の防災性の向上と交通の円滑化が図れる。
・国指定天然記念物である馬場大門のケヤキ並木保護対策事業は、平成２０年２月の保護管理計画策定以後、保護管理計画に基づいた保護対策を実施している。保護対策業務として、並木全体の現状確認と樹木診断、土壌硬化度の測定や土壌水分計による調査、伐採した樹木の年輪の年代確認と保存、優先順位の最も高い枯損枝の除去、枯死木や不要木の伐採など必要な対策を実施した。また、けやき並木通りの開発事業に対するケヤキ並木の保護に関する行政指導を実施した。
・けやき並木通り車両交通規制事業は、規制区間の延伸について、近隣住民の理解も得られたことから、６月１日(日) より延伸規制を実施するとともに警備業務の委託により、交通規制箇所での歩行者の安全確保及び車両誘導を行った。

今後の課題、状況や市民ニーズの変化

・けやき並木周辺整備事業は、地権者に対しては事業の目的や効果を説明し協力を求めていく。
・けやき並木通りに中高層建築物が建設される中で、いかにケヤキ並木を将来的に保護していくか、更には、ケヤキ受光量の維持・増加と根系の拡大に配慮して、国天然記念物指定地内における樹木の保護対策に加えて、周辺建築物に対する保護対策の強化が課題である。
・本市のけやき並木は、国内唯一の国指定のけやき並木で、貴重な文化財である。大都市東京の市街地にあるけやき並木を、いかに将来にわたって保護していくか、土地所有者や、沿道の住民、事業者と協働で、積極的に取り組んでいくことが肝要と考えている。
・けやき並木通り車両交通規制事業は、交通規制の日時の拡大を視野にいれながら、車両交通規制の周知徹底を図る必要がある。

今後の展開

・けやき並木周辺整備事業では、けやき並木通り周辺の交通環境へ対応するため、宮西町地区道路整備計画を着実に進めていく。
・現保護管理計画の策定時と現状とでは保護対象樹木の枯死木や不要木の伐採により、本数減や補植による本数増や保護管理計画で保護か伐採かの判定を保留にされていた樹木が成長し、判定できる状態になるなど、現状と計画の乖離が出てきており、新たな保護管理計画の策定を計画する必要がある。
・けやき並木通り車両交通規制事業は、車両交通規制の周知徹底を図るとともに、将来的には、交通規制の日時の拡大も視野に入れながら、「けやき並木歩行者専用道路化」の試験的事業の一つとして、けやき並木と調和した魅力あるまちづくりの一端を担う効果的な車両交通規制を検討していく。
・中心市街地活性化事業では、平成２８年６月の国の認定を目途に中心市街地活性化基本計画の作成を行う。

６　主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	４か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
けやき並木通り車両交通規制事業	にぎわいと魅力あるまちづくりの推進と歩行者の安全確保のため事業計画を拡大し、交通規制区間延長の実施と、日時の拡大を実施していく。	にぎわいと魅力あるまちづくりの推進と歩行者の安全確保のため事業計画を拡大し、日時の拡大を実施していく。	にぎわいと魅力あるまちづくりの推進と歩行者の安全確保のため事業計画を拡大し、日時の拡大を実施していく。	にぎわいと魅力あるまちづくりの推進と歩行者の安全確保のため事業計画を拡大し、日時の拡大を実施していく。
所管部署：生活環境部 地域安全対策課 事業種別：主要な事務事業 ４か年事業費計(単位:千円)：32,768	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちょくしている けやき並木通りの国際通り入口先から三菱東京UFJ銀行までの規制区間を大國魂神社前交差点まで延伸することができた。	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
けやき並木周辺整備事業	けやき並木通り 整備工事 市道4-11,12号 整備工事 市道4-488号 物件補償	市道4-10,12号 基本設計 実施設計 市道4-503号 遺跡調査	けやき並木通り 整備工事 市道4-12号 整備工事 市道4-14,488号 電線類引込工事	市道4-12号 築造工事 市道4-14号 築造工事 市道4-488号 築造工事
所管部署：都市整備部 土木課 事業種別：重点プロジェクト ４か年事業費計(単位:千円)：380,000	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちょくしている けやき並木通り 整備工事 市道4-11号 整備工事 市道4-12号 整備工事 市道4-488号 物件補償	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
馬場大門ケヤキ並木保護対策事業	春と秋の巡回監視で並木の全樹木の育成状況調査及び危険木等の確認と日常目視確認を実施する。	春と秋の巡回監視で並木の全樹木の育成状況調査及び危険木等の確認と日常目視確認を実施する。	春と秋の巡回監視で並木の全樹木の育成状況調査及び危険木等の確認と日常目視確認を実施する。	春と秋の巡回監視で並木の全樹木の育成状況調査及び危険木等の確認と日常目視確認を実施する。
所管部署：文化スポーツ部 ふるさと文化財課 事業種別：重点プロジェクト ４か年事業費計(単位:千円)：8,564	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちょくしている 巡回調査の状況を関係課と調整した。	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】

※４か年事業費計は、第６次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。
　また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7　構成事務事業の評価

（単位：円）

	事務事業名	事業種別	人件費事業	H26年度 当初予算額	H26年度 決算額	H27年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業評価/総合評価	
1	けやき並木周辺整備事業	30		30,700,000	24,620,544	23,050,000	けやき並木通りの歩行者専用化を実現するための代替道路の整備	B	1
2	馬場大門ケヤキ並木保護対策事業	10		2,512,000	2,263,500	2,631,000	国指定天然記念物馬場大門のケヤキ並木の保護対策事業	B	1
3	けやき並木通り車両交通規制事業	30		3,951,000	3,508,301	4,177,000	けやき並木の歩行者専用道路化に付随する試験的な車両交通規制の実施	B	1
4	中心市街地活性化事業	30		0	0	7,121,000	中心市街地活性化事業	A	
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
合　　計				37,163,000	30,392,345	36,979,000			

施策評価シート

記載年月	平成27年9月
対象年度	平成26年度

1　施策の名称・めざす姿

施策名	067	公共交通の利便性の向上		
総合計画	基本目標	Ⅳ	人を魅了するにぎわいと活力のあるまち（都市基盤・産業）	主担当部課名：都市整備部 計画課
	基本施策	03	公共交通の利便性の向上	
めざす姿	鉄道やバスなどの公共交通の利便性や関連施設の整備が向上し、市民誰もが円滑に移動を行えます。			

2　事業費・人件費等の推移

（単位：円、人）

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
（事業費）						
当初予算額	100,419,000	100,774,000	104,715,000			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	0	0	0			
市債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	100,419,000	100,774,000	104,715,000			
予算現額	100,419,000	100,774,000	0			
決算額	100,419,000	95,838,000	0			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	0	0	0			
市債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	100,419,000	95,838,000	0			
執行率	100.0	95.1	0.0			
（人件費）						
職員数	1.90	1.45	0.00			
職員人件費	15,221,828	10,969,772	0			
嘱託員数	0.00	0.00	0.00			
嘱託員人件費	0	0	0			
（間接経費）						
間接経費	157,700	128,184	0			
総コスト	115,798,528	106,935,956	0			

3　指標実績の推移等

指標名	基準値（単位）		実績の推移 H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H29年度目標値
①公共交通機関が利用しやすいと感じている市民の割合（%）	38.4	実績	45.3	－	－	－	50
	%	達成率	90.6	0.0	0.0	0.0	
②コミュニティバスの年間利用者数（人）	1,747,950	実績	2,044,484	－	－	－	2,000,000
	人	達成率	102.2	0.0	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

公共交通機関を利用しやすいと感じている市民の割合は着実に増え、目標達成に向けて順調に推移している。コミュニティバス利用者は増加傾向にあり、平成２６年度実績で目標値を超えている。

４　施策の進ちょく状況

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
進ちょく状況	目標達成に向け順調に進ちょくしている			
達成できている点	・公共交通機関の利便性向上を図るため、東京都や鉄道事業者、バス事業者に対し要望を行った。 ・コミュニティバス検討協議会で、今後のあり方に関して検討を開始した。			
達成できていない点	・コミュニティバスの今後のあり方を継続して検討する必要がある。			

５　施策の評価

これまでの主な取組と成果

鉄道駅のエレベーターなどの整備によるバリアフリー対応率及びだれでもトイレの設置駅の割合については、鉄道事業者の協力により目標値を達成した。
多摩都市モノレール事業については、多摩自立都市圏の形成を図る上で重要な公共交通網の根幹をなすもので、多摩センター駅から上北台駅間が開業し、構想路線全線の早期事業化が望まれている。
JR中央線三鷹駅立川駅間連続立体交差事業については、平成7年11月の事業認可、平成11年3月の仮線工事着手以降事業が進められ、平成22年11月に全区間が高架化しており、側道整備等を行っている。
複々線化事業については、早期事業化が望まれている。
コミュニティバスについては、平成２０年３月に押立町・朝日町循環、平成２２年３月に南町・四谷循環四谷６丁目ルートを開設した。平成２３年８月には、南町・四谷循環よつや苑西ルートを四谷１丁目に延伸するとともに、四谷６丁目ルートとの重複路線の解消を行った。また、平成２４年４月より押立町・朝日町循環の３０分間隔での運行を開始した。また、コミュニティバス検討協議会を開催し、さらなる利便性の向上や社会状況の変化に対応するとともに、コミュニティバスの今後のあり方の検討を開始した。

今後の課題、状況や市民ニーズの変化

多摩都市モノレール事業及びJR中央線複々線化事業については、関係機関における事業に必要な財源の確保が課題である。
コミュニティバスについては、更なる利便性の向上や社会状況の変化に対応していく必要があるため、運行の改善を継続して検討する。

今後の展開

多摩都市モノレール事業及びJR中央線複々線化事業については、関係市と連携を図り、関係機関に対して、事業の促進について引き続き要請行動を実施する。
コミュニティバスについては、利便性を向上させ、社会状況の変化に対応していくため、運行の改善を継続して検討するとともに、検討結果を実施していく。

６　主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	４か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
コミュニティバス運行補助事業	コミュニティバス運行事業費 補助金の交付 コミュニティバス検討協議会の開催	コミュニティバス運行事業費 補助金の交付 コミュニティバス検討協議会 提言内容の検討・準備	コミュニティバス運行事業費 補助金の交付 コミュニティバス検討協議会 提言内容の実施	コミュニティバス運行事業費 補助金の交付
所管部署	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちょくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
生活環境部 地域安全対策課 事業種別 主要な事務事業 ４か年事業費計（単位：千円） 411,633	運行事業者の京王バス中央株式会社に補助金を交付した。 コミュニティバス検討協議会を開催し、今後のあり方について検討を開始した。 慎重な議論を要することから、継続して検討する必要がある。			
鉄道等整備要請事業	第二四半期 陳情行動 三鷹・立川間立体化複々線促進協議会総会 多摩地域都市モノレール等建設促進協議会総会	第二四半期 陳情行動 三鷹・立川間立体化複々線促進協議会総会 多摩地域都市モノレール等建設促進協議会総会	第二四半期 陳情行動 三鷹・立川間立体化複々線促進協議会総会 多摩地域都市モノレール等建設促進協議会総会	第二四半期 陳情行動 三鷹・立川間立体化複々線促進協議会総会 多摩地域都市モノレール等建設促進協議会総会
所管部署	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちょくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
都市整備部 計画課 事業種別 主要な事務事業 ４か年事業費計（単位：千円） 320	東京都や鉄道事業者、バス事業者に対し、市民や議会からの意見・要望を踏まえ陳情を行った。			
所管部署	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
事業種別 ４か年事業費計（単位：千円）				

※４か年事業費計は、第６次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。
　また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7　構成事務事業の評価

（単位：円）

	事務事業名	事業種別	人件費事業	H26年度 当初予算額	H26年度 決算額	H27年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業評価/総合評価	
1	コミュニティバス運行補助事業	30		100,694,000	95,775,000	104,652,000	コミュニティバス運行事業者に対する補助金の交付、検討協議会の運営	B	1
2	鉄道等整備要請事業	30		80,000	63,000	63,000	鉄道やバスなどの利便性の向上や関連施設の整備について、関係機関に要望する。	B	1
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
合　　計				100,774,000	95,838,000	104,715,000			

施策評価シート

記載年月	平成27年9月
対象年度	平成26年度

1　施策の名称・めざす姿

施策名	068	道路等の整備			
総合計画	基本目標	Ⅳ	人を魅了するにぎわいと活力のあるまち（都市基盤・産業）	主担当部課名	都市整備部　土木課
	基本施策	04	社会基盤の保全・整備		
めざす姿	市民生活と地域経済活動の向上に大きく寄与する道路交通を実現するため、市内における都市の骨格となる都市計画道路、幹線道路網などが、バリアフリーに基づき整備され、歩行者空間のユニバーサルデザインを推進し、全ての人が安全で安心な公共施設への移動が確保されています。また、車の走行による騒音、振動を低減する環境に配慮した舗装を採用することにより、市民が快適に暮らせます。				

2　事業費・人件費等の推移

（単位：円、人）

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
（事業費）						
当初予算額	497,626,000	514,141,000	559,333,000			
国庫支出金	0	30,000,000	55,000,000			
都支出金	110,600,000	51,900,000	66,905,000			
市債	32,000,000	28,000,000	0			
その他	1,160,000	500,000	5,865,000			
一般財源	353,866,000	403,741,000	431,563,000			
予算現額	546,326,000	557,513,000	0			
決算額	510,480,862	504,119,037	0			
国庫支出金	0	30,000,000	0			
都支出金	109,422,000	52,661,000	0			
市債	17,000,000	24,000,000	0			
その他	17,000,000	24,000,000	0			
一般財源	383,738,041	397,458,037	0			
執行率	93.4	90.4	0.0			
（人件費）						
職員数	19.21	18.65	0.00			
職員人件費	153,552,448	140,682,047	0			
嘱託員数	0.00	0.00	0.00			
嘱託員人件費	0	0	0			
（間接経費）						
間接経費	1,639,283	554,317	0			
総コスト	665,672,593	645,355,401	0			

3　指標実績の推移等

指標名	基準値（単位）		実績の推移 H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H29年度目標値
①都市計画道路の事業進捗率	87.4	実績	87.4	－	－	－	91.3
	%	達成率	95.7	0.0	0.0	0.0	
②市内の狭あい道路の割合	10.4	実績	9.7	－	－	－	8.3
	%	達成率	85.6	－	－	－	
③騒音や振動の防止に対する評価	19.4	実績	18.6	－	－	－	17.2
	%	達成率	92.5	－	－	－	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

都市計画道路の事業進捗率について数値は変化していないが、現在事業中の箇所もあり完成に向けて取り組んでいる。
狭あい道路の割合は基準値と比較して0.7ポイント減少しており、着実に狭あい道路の解消を進めている。
騒音・振動については、市内道路の舗装打替えを順次行ってきており、不満を感じている人の割合が基準値と比較して0.8ポイント減少している。

４　施策の進ちょく状況

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
進ちょく状況	目標達成に向け順調に進ちょくしている			
達成できている点	市内の狭あい道路の割合が減ってきている。 道路改良工事を実施し、騒音や振動を防止する道路環境の改善に努めた。 道路事業を行うための準備、交渉を行った。			
達成できていない点				

５　施策の評価

これまでの主な取組と成果

都市計画道路の事業進捗率は８７．４％で、平成２６年度には府３・４・１１号及び府３・４・１６号（二期区間）の事業を進めており、目標値の達成に向けて取り組んでいる。また、既存道路改良工事を平成２６年度に３路線実施し、騒音や振動を防止する道路環境の改善に努めてきた。

今後の課題、状況や市民ニーズの変化

都市計画道路整備は、財政状況に応じ計画的な事業化を推進していく必要がある。府３・４・１３号は一部未整備区間の早期完成が不可欠である。
府３・４・１１号及び府３・４・１６号（二期区間）は平成２７年度中の事業認可取得に向けて取り組んでいる。

今後の展開

都市計画道路整備は、府３・４・１３号の完全開通と、府３・４・１１号及び府３・４・１６号（二期区間）の平成２７年度中の事業化を目指す。
狭あい道路拡幅整備については、執行可能な財政計画のもと計画的に進めていく。
既存道路の改良整備及びみちづくりバリアフリー化整備や電線類地中化整備は計画的に取り組んでいく。
桜通り等改修計画に基づき桜の植替えと歩道の段差解消を進める。

６　主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	４か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
道路新設・拡幅改修整備事業	府3･4･11号：用地測量、府3･4･16号（一期区間）：用地取得、実施設計、物件補償、府3･4･16号（二期区間）：現況測量、多摩川通り：河川管理者協議、市道2-123号：用地取得ほか、道路交通の円滑化と安全性向上のため、市道の整備を実施します。	府3･4･11号：事業認可申請、府3･4･16号（一期区間）：用地取得、物件補償、府3･4･16号（二期区間）：用地測量、事業認可申請、多摩川通り：河川管理者協議、警察協議、境界確認、市道2-123号：用地取得、詳細設計ほか、市道の整備を実施します。	府3･4･11号：物件補償、府3･4･16号（一期区間）：用地取得、電線共同溝工事、府3･4･16号（二期区間）：物件補償、多摩川通り：基本設計、河川管理者協議、警察協議、市道2-123号：整備工事ほか、道路交通の円滑化と安全性向上のため、市道の整備を実施します。	府3･4･11号：用地取得、基本設計、物件補償、府3･4･16号（一期区間）：用地取得、電線共同溝工事、道路築造工事、府3･4･16号（二期区間）：用地取得、基本設計、物件補償、多摩川通り：用地取得、実施設計、市道2-127号：用地取得ほか、市道の整備を実施します。
	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちょくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署 都市整備部 土木課 事業種別 主要な事務事業 ４か年事業費計（単位：千円） 676,508	事業を行うための準備、交渉を行った。			
狭あい道路解消事業	・道路中心から2m後退する後退用地にある工作物への助成金の支払・後退用地の土地の分筆・所有権移転登記、寄附を受けた後退用地の奨励金の支払・後退用地へのＬ型側溝整備	・道路中心から2m後退する後退用地にある工作物への助成金の支払・後退用地の土地の分筆・所有権移転登記、寄附を受けた後退用地の奨励金の支払・後退用地へのＬ型側溝整備	・道路中心から2m後退する後退用地にある工作物への助成金の支払・後退用地の土地の分筆・所有権移転登記・後退用地へのＬ型側溝整備	・道路中心から2m後退する後退用地にある工作物への助成金の支払・後退用地の土地の分筆・所有権移転登記・後退用地へのＬ型側溝整備
	【進捗状況】 遅れが生じている。このままでは目標達成が難しい	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署 都市整備部 建築指導課 事業種別 主要な事務事業 ４か年事業費計（単位：千円） 555,840	狭あい道路解消に向け、広域的に土地所有者に対して、積極的に協力を働き掛けた結果、着実に成果を上げているが、このままでは、目標達成するのは難しい。			
既設道路改良整備事業	府中駅前通り：詳細設計 桜通り外２路線：改修計画策定 ほか、良好な道路環境の整備を図るため、市道の改良を実施します。	府中駅前通り：関係機関調整、桜通り外２路線：桜の健全性調査、道路改修、朝日町通り、多磨駅東通り、市道1-306号、市道1-307号：測量、基本設計、詳細設計、試掘ほか、良好な道路環境の整備を図るため、市道の改良を実施します。	府中駅前通り：整備工事 桜通り外２路線：桜の健全性調査、道路改修、朝日町通り、多磨駅東通り、市道1-306号、市道1-307号：支障移設工事ほか、良好な道路環境の整備を図るため、市道の改良を実施します。	府中駅前通り：整備工事 桜通り外２路線：道路改修 市道1-306号、市道1-307号：引込管・連携管設置工事、道路復旧工事、朝日町通り：電線共同溝工事、引込管設置工事ほか、良好な道路環境の整備を図るため、市道の改良を実施します。
	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちょくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署 都市整備部 土木課 事業種別 主要な事務事業 ４か年事業費計（単位：千円） 457,040	九中通り、市道5- 141号等改良工事を実施し、騒音や振動を防止する道路環境の改善に努めた。			

※４か年事業費計は、第６次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。
　また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7　構成事務事業の評価

（単位：円）

	事務事業名	事業種別	人件費事業	H26年度 当初予算額	H26年度 決算額	H27年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業評価/総合評価	
1	バリアフリー化推進事業	30		52,422,000	53,693,220	0	誰もが安全で快適に利用できるよう道路のバリアフリー化を行う	B	1
2	桜通り改修事業	30		0	0	0	桜通り等のバリアフリー化を考慮した再整備	B	1
3	道路関係広域連携事業	30		261,000	259,000	262,000	道路整備の推進	B	1
4	道路新設・拡幅改修整備事業	30		43,293,000	43,197,375	69,716,000	道路の新設整備及び拡幅改修を行う	B	1
5	狭あい道路解消事業	30		127,300,000	121,491,848	177,020,000	建築基準法第４２条第２項に指定された道路等において後退した部分の敷地を道路用地として寄附を	A	
6	負担金　多摩川整備促進協議会	30		15,000	15,000	15,000	多摩川の整備促進運動を推進し治水・水害防止・流域住民の安全と産業経済の発展に寄与する。	B	1
7	既設道路改良整備事業	30		271,850,000	268,965,881	292,770,000	道路の改良	B	1
8	用排水路整備事業	30		14,000,000	13,758,423	14,900,000	用排水路の整備	B	1
9	私道整備事業	30		5,000,000	2,738,290	4,650,000	私道整備事業	B	3
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
合　　計				514,141,000	504,119,037	559,333,000			

施策評価シート

記載年月	平成27年9月
対象年度	平成26年度

1　施策の名称・めざす姿

施策名	069	道路等の適正な維持管理			
総合計画	基本目標	Ⅳ	人を魅了するにぎわいと活力のあるまち（都市基盤・産業）	主担当部課名	都市整備部 管理課
	基本施策	04	社会基盤の保全・整備		
めざす姿	道路や橋梁が適切に維持管理され、安全で快適に通行することができています。				

2　事業費・人件費等の推移

（単位：円、人）

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
（事業費）						
当初予算額	390,502,000	450,417,000	549,202,000			
国庫支出金	0	11,825,000	5,500,000			
都支出金	3,300,000	3,000,000	3,510,000			
市債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	387,202,000	435,592,000	540,192,000			
予算現額	398,022,000	488,390,000	0			
決算額	387,444,077	478,063,665	0			
国庫支出金	0	10,670,000	0			
都支出金	3,150,000	3,000,000	0			
市債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	384,294,077	464,393,665	0			
執行率	97.3	97.9	0.0			
（人件費）						
職員数	19.58	22.32	0.00			
職員人件費	156,488,721	168,331,146	0			
嘱託員数	0.00	0.00	0.00			
嘱託員人件費	0	0	0			
（間接経費）						
間接経費	8,500,815	12,073,267	0			
総コスト	552,433,613	658,468,078	0			

3　指標実績の推移等

指標名	基準値（単位）		実績の推移 H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H29年度目標値
①道路の適正な維持管理	14.3	実績	12.3	－	－	－	10
	%	達成率	123.0	0.0	0.0	0.0	
②街路樹の適正な維持管理	84.4	実績	86.1	－	－	－	90
	%	達成率	95.7	0.0	0.0	0.0	
③道路台帳等維持管理事業	100	実績	100	－	－	－	100
	%	達成率	100.0	0.0	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

安全で快適な道路の維持管理をしていくためには、事業を継続していく必要がある。

４　施策の進ちょく状況

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
進ちょく状況	目標達成に向け順調に進ちょくしている			
達成できている点	道路施設の適正な維持管理を行った。 道路台帳については、認定、区域変更、廃止の箇所について更新を行った。 新しい道路の管理手法である包括的道路維持管理業務の委託を実施している。			
達成できていない点	橋梁等の大型構造物の点検が進んでいない。			

５　施策の評価

これまでの主な取組と成果

道路台帳については、道路法に基づき、認定、区域変更及び廃止により市道が変化した箇所について道路台帳平面図及び道路台帳調書の更新を行った。
地籍調査については、国土調査法に基づき、官民境界等先行調査により平成２６年度までに0.19ｋ㎡行った。法定外公共物の維持管理では、除草、防草シート設置及び管理柵の設置などを行った。
予防保全の管理を進めるため、幹線市道61路線（車道部）約88kmの路面下空洞調査を行った。
道路の舗装、街灯、カーブミラー、街路樹、防護柵等の適切な維持管理を行った。

今後の課題、状況や市民ニーズの変化

道路施設の管理費用を削減しつつ、予防保全の管理を進めるために、点検・調査により、施設現状の把握を行い、中長期的な視点から修繕等の計画を立て、マネジメントする必要がある。

今後の展開

橋梁等の点検を進め、中長期的な修繕や更新の計画を策定し、適切な管理運営費用を算出するなど、維持管理費の削減と安全・安心な施設管理を目指す。

６　主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	４か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
道路等維持管理事業	道路施設の管理費用を削減しつつ、予防保全の管理を進めるため、施設の点検・調査を行う。 ・路面下空洞調査	道路施設の管理費用を削減しつつ、予防保全の管理を進めるため、施設の点検・調査を行う。 ・車道橋・歩道橋の点検（跨道橋）	道路施設の管理費用を削減しつつ、予防保全の管理を進めるため、施設の点検・調査を行う。 ・車道橋・歩道橋の点検（跨線橋）	道路施設の管理費用を削減しつつ、予防保全の管理を進めるため、施設の点検・調査を行う。 ・車道橋の長寿命化計画策定 ・街路灯点検
所管部署	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちょくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
都市整備部 管理課	路面化空洞調査を実施した結果、６９箇所の空洞を発見し、危険度の高いものから補修作業を進め始める。			
事業種別				
主要な事務事業				
４か年事業費計(単位:千円)				
120,000				
所管部署	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
事業種別				
４か年事業費計(単位:千円)				
所管部署	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
事業種別				
４か年事業費計(単位:千円)				

※４か年事業費計は、第６次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。
　また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7　構成事務事業の評価

（単位：円）

	事務事業名	事業種別	人件費事業	H26年度 当初予算額	H26年度 決算額	H27年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業評価/総合評価	
1	地籍調査事業	30		4,447,000	4,351,000	4,967,000	国土調査法に基づく土地の所有者・面積・地目・地番の調査及び土地の境界と面積を測量する。	B	3
2	道路等維持管理事業	10		436,374,000	465,175,184	494,908,000	道路等の維持管理	A	
3	法定外公共物管理事業	30		8,596,000	8,537,481	9,596,000	法定外公共物の維持管理	B	1
4	インフラマネジメント計画推進事業	30		0	0	38,731,000	新たなインフラ管理の方針として定めた「インフラマネジメント計画」を着実に推進していく事業で	A	
5	緊急整備工事事業	30		1,000,000	0	1,000,000	緊急整備工事	B	1
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
合　　計				450,417,000	478,063,665	549,202,000			

施策評価シート

記載年月	平成27年9月
対象年度	平成26年度

1　施策の名称・めざす姿

施策名	070	下水道施設の機能確保			
総合計画	基本目標	Ⅳ	人を魅了するにぎわいと活力のあるまち（都市基盤・産業）	主担当部課名	都市整備部　下水道課
	基本施策	04	社会基盤の保全・整備		
めざす姿	下水道施設が適切に維持管理され、老朽化対策・地震対策等が計画的に行われ、市民の快適な生活環境が確保されています。				

2　事業費・人件費等の推移

（単位：円、人）

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
（事業費）						
当初予算額	2,730,751,000	2,932,495,000	2,931,877,000			
国庫支出金	134,090,000	76,750,000	16,750,000			
都支出金	6,704,000	3,837,000	837,000			
市債	209,200,000	284,000,000	290,000,000			
その他	1,694,673,000	1,777,286,000	1,846,162,000			
一般財源	686,084,000	790,622,000	778,128,000			
予算現額	2,645,078,000	2,890,768,000	0			
決算額	2,444,253,475	2,457,864,712	0			
国庫支出金	84,680,000	48,000,000	0			
都支出金	4,234,000	1,310,000	0			
市債	192,300,000	206,100,000	0			
その他	192,300,000	206,100,000	0			
一般財源	575,762,828	570,664,056	0			
執行率	92.4	85.0	0.0			
（人件費）						
職員数	14.90	14.99	0.00			
職員人件費	119,086,283	113,050,353	0			
嘱託員数	0.00	0.00	0.00			
嘱託員人件費	0	0	0			
（間接経費）						
間接経費	7,354,470	13,498,682	0			
総コスト	2,570,694,228	2,584,413,747	0			

3　指標実績の推移等

指標名	基準値（単位）		実績の推移 H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H29年度目標値
①老朽化対策工事の管きょの延長	6.2	実績	6.4	－	－	－	10
	km	達成率	64.0	0.0	0.0	0.0	
②地震対策工事のか所数	7	実績	223	－	－	－	730
	か所	達成率	30.5	0.0	0.0	0.0	
③雨水浸透ますの設置個数	47,900	実績	54,226	－	－	－	59,900
	個	達成率	90.5	0.0	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

老朽化対策工事の管きょの延長については、目標に向けて努力していく。
地震対策工事については、現地調査による施工不能箇所の発覚により、実績値がやや少なくなっているが、来年度以降着実に積み上げていく。
雨水浸透ますについては、市民への周知が実績値を押し上げている。

４　施策の進ちょく状況

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
進ちょく状況	目標達成に向け順調に進ちょくしている			
達成できている点	下水道施設が適切に維持管理され、老朽化対策としての管更正工事も計画的に行われている。雨水浸透施設の設置について周知されてきている。			
達成できていない点	地震対策工事については、予定施工箇所における事前調査により、施工不能箇所が発覚し、達成率を下回っている。			

５　施策の評価

これまでの主な取組と成果

下水道管の調査・清掃は、平成１９年度から５年間で市内全域を行った。この調査をもとに汚泥深調査を平成２４年度から３年間行っている。平成２６年度は、目視調査を１１，９８８か所、下水道管きょのテレビ調査を約３ｋｍ行った。損傷箇所などの補修工事を９３か所実施したほか、管更正工事を９４．６ｍ実施した。
また、第一都市下水路の劣化した壁面等の補修工事を１１６．７ｍ実施した。
総合地震対策計画に基づき、人孔浮上防止対策工を１５か所、人孔継手部可とう化工を９０か所施工した。
ポンプ場施設の維持管理についても年間委託し、安定した運転管理に努めた。
以上の取組により、下水道施設の機能は確保されている。

今後の課題、状況や市民ニーズの変化

今後は、平成２３年度に策定した下水道マスタープランに掲げる個別の施策の確実な実施と、事業に対応する財源の確保及び事業を実施するための管理体制の確保が課題である。
また、総務省から示された下水道事業の公営企業会計化に向けての準備が必要である。

今後の展開

下水道マスタープランに基づき、引き続き、下水道施設の長寿命化対策及び地震対策事業を確実に進めていく。
また、総務省の要請に従い、下水道事業の平成３２年４月からの公営企業会計の適用に向けて、準備を行っていく。

６　主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	４か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
下水道運営管理事業	下水道財政の健全化の推進のため、下水道使用料の確実な徴収事務の実施に努め、また、一般住宅及び中高層・開発事業に係る雨水浸透施設等の設置指導に努めます。	下水道財政の健全化の推進のため、下水道使用料の確実な徴収事務の実施に努め、また、一般住宅及び中高層・開発事業に係る雨水浸透施設等の設置指導に努めます。	下水道財政の健全化の推進のため、下水道使用料の確実な徴収事務の実施に努め、また、一般住宅及び中高層・開発事業に係る雨水浸透施設等の設置指導に努めます。	下水道財政の健全化の推進のため、下水道使用料の確実な徴収事務の実施に努め、また、一般住宅及び中高層・開発事業に係る雨水浸透施設等の設置指導に努めます。
所管部署：都市整備部　下水道課 事業種別：主要な事務事業 ４か年事業費計（単位：千円）：7,760,000	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちょくしている 下水道財政の健全化の推進のため、下水道使用料の確実な徴収事務を実施し、一般住宅及び中高層・開発事業に係る雨水浸透施設等の設置指導を行った。	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
下水道維持管理事業	計画的に下水道施設の調査・清掃等を実施し、維持管理に努めるとともに、地震対策計画に基づき、マンホールの浮上防止対策、マンホールと管きょ継手部の可とう化工事を実施します。	計画的に下水道施設の調査・清掃等を実施し、維持管理に努めるとともに、地震対策計画に基づき、マンホールの浮上防止対策、マンホールと管きょ継手部の可とう化工事を実施します。	計画的に下水道施設の調査・清掃等を実施し、維持管理に努めるとともに、地震対策計画に基づき、マンホールの浮上防止対策、マンホールと管きょ継手部の可とう化工事を実施します。	計画的に下水道施設の調査・清掃等を実施し、維持管理に努めるとともに、地震対策計画に基づき、マンホールの浮上防止対策、マンホールと管きょ継手部の可とう化工事を実施します。
所管部署：都市整備部　下水道課 事業種別：主要な事務事業 ４か年事業費計（単位：千円）：1,961,000	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちょくしている 計画的に下水道管きょの維持管理を行い、マンホールの浮上防止・マンホールと管きょ継手部の可とう化工事を実施した。	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
下水道新設改良事業	長寿命化計画に基づき、既設老朽管の更正工事等を計画的に実施します。	長寿命化計画に基づき、既設老朽管の更正工事等を計画的に実施します。	長寿命化計画に基づき、既設老朽管の更正工事等を計画的に実施します。	長寿命化計画に基づき、既設老朽管の更正工事等を計画的に実施します。
所管部署：都市整備部　下水道課 事業種別：主要な事務事業 ４か年事業費計（単位：千円）：1,829,000	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちょくしている 既設老朽管の更正工事を実施した。	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】

※４か年事業費計は、第６次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。
　また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7　構成事務事業の評価

（単位：円）

	事務事業名	事業種別	人件費事業	H26年度 当初予算額	H26年度 決算額	H27年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業評価/総合評価	
1	下水道運営管理事業	10		1,908,283,000	1,694,622,848	1,945,274,000	下水道事業の管理運営に必要な事務事業	B	1
2	下水道維持管理事業	10		599,040,000	426,196,144	448,405,000	既設下水道施設の維持管理事業	B	1
3	下水道新設改良事業	10		425,172,000	337,045,720	538,198,000	下水道施設の新設に関わる事業	B	1
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
合　　計				2,932,495,000	2,457,864,712	2,931,877,000			

施策評価シート

記載年月	平成27年9月
対象年度	平成26年度

1　施策の名称・めざす姿

施策名	071	中小企業の経営基盤強化の支援			
総合計画	基本目標	Ⅳ	人を魅了するにぎわいと活力のあるまち（都市基盤・産業）	主担当部課名	生活環境部 経済観光課
	基本施策	05	商工業の振興		
めざす姿	ＩＴ社会に対応した新たな経営の導入や時代のニーズを踏まえた経営の刷新など、中小企業の経営基盤強化に向けた支援が行われ、中小企業の経営の安定化と地域経済の活性化が図られています。				

2　事業費・人件費等の推移

（単位：円、人）

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
（事業費）						
当初予算額	125,235,000	119,730,000	110,627,000			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	0	0	0			
市債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	125,235,000	119,730,000	110,627,000			
予算現額	125,235,000	105,662,000	0			
決算額	109,815,654	94,350,931	0			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	0	0	0			
市債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	109,815,654	94,350,931	0			
執行率	87.7	89.3	0.0			
（人件費）						
職員数	1.72	1.57	0.00			
職員人件費	13,746,873	11,840,497	0			
嘱託員数	0.00	0.00	0.00			
嘱託員人件費	0	0	0			
（間接経費）						
間接経費	202,086	131,204	0			
総コスト	123,764,613	106,322,632	0			

3　指標実績の推移等

指標名	基準値（単位）		実績の推移 H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H29年度目標値
①事業所数の多摩２６市順位（現状値７，３６３事業所平成１６年度）（目標値以内）	4	実績	4	－	－	－	4
	位	達成率	100.0	－	－	－	
②むさし府中商工会議所で行う巡回窓口相談指導件数	2,018	実績	2,024	－	－	－	2,800
	件	達成率	72.3	0.0	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

指標1については、目標達成に向け順調に推移している。指標2については、目標値にはまだ開きがあるものの、むさし府中商工会議所と連携しつつ、目標達成に向け努力していく。

４　施策の進ちょく状況

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
進ちょく状況	目標達成に向け順調に進ちょくしている			
達成できている点	中小企業の経営安定化を図るため、中小企業事業資金融資利子及び中小企業退職金共済掛金への支援を行うとともに、むさし府中商工会議所が行う商工業振興事業及び経営改善、団体育成への指導等に対して支援を行った。			
達成できていない点	経営改善の団体育成への指導については、むさし府中商工会議所と連携しつつ、概ね３年後の制度廃止に向けて説明を行っていく。			

５　施策の評価

これまでの主な取組と成果

平成20年度には、原油・原材料の高騰により売り上げが減少した中小企業に対し、3年間無利子、500万円を限度額とした「緊急対策資金」を創設した。
平成23年度には、東日本大震災の影響で売り上げが減少した中小企業に対し、3年間無利子、500万円を限度額とした「震災緊急対策資金」を創設した。
両制度とも、時限的な対応ではあったものの、時代とともに生じる、経営を取り巻く状況の変化に応じた利用が図られたと評価できる。

今後の課題、状況や市民ニーズの変化

時代とともに生じる、経営を取り巻く状況の変化に応じた支援の実施。

今後の展開

今後も、むさし府中商工会議所と連携し、中小企業の経営に対し、専門家による各種相談、指導の提供、各種講座の開催等の支援を継続して実施していく。また、事業（開業）資金融資あっ旋を通じて、事業資金の調達、開業への支援を行っていく。

６　主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	４か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
中小企業経営安定化推進事業	市内中小企業者に対し、必要な事業資金の融資のあっ旋及び利子の補助を行うとともに、中小企業退職金共済掛金に対する補助を行う。 ▼中小企業事業資金融資利子補助 ▼中小企業退職金共済掛金補助	市内中小企業者に対し、必要な事業資金の融資のあっ旋及び利子の補助を行うとともに、中小企業退職金共済掛金に対する補助を行う。 ▼中小企業事業資金融資利子補助 ▼中小企業退職金共済掛金補助	市内中小企業者に対し、必要な事業資金の融資のあっ旋及び利子の補助を行うとともに、中小企業退職金共済掛金に対する補助を行う。 ▼中小企業事業資金融資利子補助 ▼中小企業退職金共済掛金補助	市内中小企業者に対し、必要な事業資金の融資のあっ旋及び利子の補助を行うとともに、中小企業退職金共済掛金に対する補助を行う。 ▼中小企業事業資金融資利子補助 ▼中小企業退職金共済掛金補助
所管部署 生活環境部 経済観光課 事業種別 主要な事務事業 ４か年事業費計（単位：千円） 328,948	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちょくしている 中小企業者への事業資金融資のあっ旋及び利子補助を行い、また、中小企業退職金共済掛金等への支援を行うことにより、金融の円滑化を図るとともに、勤労者の福祉の向上と雇用の安定に寄与することができた。	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
商工業振興事業	むさし府中商工会議所が行う、商工業振興事業に対する補助を行う。 ▼商工まつり▼商業祭助成金▼商工振興表彰式典▼経営情報提供事業▼後継者育成事業▼中小企業インターネット等活用支援事業▼にぎわいあふれるまちづくり事業	むさし府中商工会議所が行う、商工業振興事業に対する補助を行う。 ▼商工まつり▼商業祭助成金▼商工振興表彰式典▼経営情報提供事業▼後継者育成事業▼中小企業インターネット等活用支援事業▼にぎわいあふれるまちづくり事業	むさし府中商工会議所が行う、商工業振興事業に対する補助を行う。 ▼商工まつり▼商業祭助成金▼商工振興表彰式典▼経営情報提供事業▼後継者育成事業▼中小企業インターネット等活用支援事業▼にぎわいあふれるまちづくり事業	むさし府中商工会議所が行う、商工業振興事業に対する補助を行う。 ▼商工まつり▼商業祭助成金▼商工振興表彰式典▼経営情報提供事業▼後継者育成事業▼中小企業インターネット等活用支援事業▼にぎわいあふれるまちづくり事業
所管部署 生活環境部 経済観光課 事業種別 主要な事務事業 ４か年事業費計（単位：千円） 155,672	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちょくしている むさし府中商工会議所が行う、商工まつりや経営情報提供事業、にぎわいあふれるまちづくり事業や後継者育成事業等に対して支援を行うことにより、市内商工業の振興と安定に寄与することができた。	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
経営改善事業	むさし府中商工会議所が行う、経営改善事業に対する補助を行う。 ▼経営改善普及指導事業 ・個別巡回窓口相談 ・講習会等による指導（集団・個別） ・記帳継続指導 ・創業支援事業　等 ▼団体育成指導事業	むさし府中商工会議所が行う、経営改善事業に対する補助を行う。 ▼経営改善普及指導事業 ・個別巡回窓口相談 ・講習会等による指導（集団・個別） ・記帳継続指導 ・創業支援事業　等 ▼団体育成指導事業	むさし府中商工会議所が行う、経営改善事業に対する補助を行う。 ▼経営改善普及指導事業 ・個別巡回窓口相談 ・講習会等による指導（集団・個別） ・記帳継続指導 ・創業支援事業　等 ▼団体育成指導事業	むさし府中商工会議所が行う、経営改善事業に対する補助を行う。 ▼経営改善普及指導事業 ・個別巡回窓口相談 ・講習会等による指導（集団・個別） ・記帳継続指導 ・創業支援事業　等 ▼団体育成指導事業
所管部署 生活環境部 経済観光課 事業種別 主要な事務事業 ４か年事業費計（単位：千円） 103,764	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちょくしている むさし府中商工会議所が市内小規模事業者等に対して行う、経営改善普及指導事業及び団体育成指導事業等に対して支援を行うことにより、市内商工業の振興と安定に寄与することができた。	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】

※４か年事業費計は、第６次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。
　また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7　構成事務事業の評価

（単位：円）

	事務事業名	事業種別	人件費事業	H26年度 当初予算額	H26年度 決算額	H27年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業評価/総合評価	
1	中小企業経営安定化推進事業	30		64,977,000	42,446,931	57,972,000	中小企業への事業資金の融資あっ旋、中小企業退職金共済掛金の補助	B	1
2	商工業振興事業	30		29,078,000	26,779,000	27,784,000	商工業の振興のため、むさし府中商工会議所の実施する事業に対し助成する。	B	1
3	補助金　公衆浴場設備改修費	30		1,550,000	1,000,000	1,470,000	公衆浴場設備改修費に対する助成	B	1
4	経営改善事業	30		24,125,000	24,125,000	23,401,000	むさし府中商工会議所による経営相談指導	B	1
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
合　　計				119,730,000	94,350,931	110,627,000			

施策評価シート

記載年月	平成27年9月
対象年度	平成26年度

1　施策の名称・めざす姿

施策名	072	地域商業の振興			
総合計画	基本目標	Ⅳ	人を魅了するにぎわいと活力のあるまち（都市基盤・産業）	主担当部課名	生活環境部 経済観光課
	基本施策	05	商工業の振興		
めざす姿	生活者の日常生活の利便性や快適性の向上と地域商業の振興が図られ、商業者と市民をはじめとする消費者との交流の促進を通した活気ある商店街づくりと商業活動の活性化が図られています。				

2　事業費・人件費等の推移

（単位：円、人）

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
（事業費）						
当初予算額	83,913,000	80,890,000	84,757,000			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	24,021,000	25,658,000	25,614,000			
市債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	59,892,000	55,232,000	59,143,000			
予算現額	83,913,000	148,908,000	0			
決算額	71,068,252	134,041,171	0			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	17,151,000	17,742,000	0			
市債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	53,917,252	116,299,171	0			
執行率	84.7	90.0	0.0			
（人件費）						
職員数	1.22	1.37	0.00			
職員人件費	9,750,689	10,332,154	0			
嘱託員数	0.00	0.00	0.00			
嘱託員人件費	0	0	0			
（間接経費）						
間接経費	143,337	114,480	0			
総コスト	80,962,278	144,487,805	0			

3　指標実績の推移等

指標名	基準値（単位）		実績の推移 H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H29年度目標値
①市内店舗において商品を購入する市民の割合	78.7	実績	－	－	－	－	80
	%	達成率	0.0	0.0	0.0	0.0	
②日常の買物の便がよいと感じている市民の割合	70.6	実績	72.8	－	－	－	75
	%	達成率	97.1	0.0	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

指標1については、むさし府中商工会議所において、経済センサスの結果が公表された後に行うことが通例となっているため、平成26年度分については未記入である。

４　施策の進ちょく状況

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
進ちょく状況	目標達成に向け順調に進ちょくしている			
達成できている点	商店会の実施するイベント事業、装飾街路灯、アーチ等の設置、修繕等及び電気料に対して支援を行うとともに、商業者等の創意工夫を活かした特産品等の開発を支援することにより、府中市の魅力の向上と商業及び観光の振興を図った。			
達成できていない点	平成２６年度は、アドバイザーの派遣を希望する商店会等からの申込がなく、実績は０件だった。国及び都の同様の他制度の充実が図られてきている現状を踏まえ、他制度の調査・研究を行うなど、事業の実施方法について検討を行っていく。			

５　施策の評価

これまでの主な取組と成果

商店会が行うイベント、商店街の街路灯等の新設及び修繕に補助するとともに、街路灯等の電気料の補助を行った。また、あらたな特産品開発の支援や、アドバイザーの派遣、平成２１・２２年度で計３回行ったプレミアム商品券の発行に対する補助をとおし、商店街の活性化を図った。

今後の課題、状況や市民ニーズの変化

商店会では、さまざまなイベントを実施して商店街の活性化を図っているが、商店会未加入事業者、商店の後継者問題、大規模店舗の増加、消費者の生活様式やニーズの多様化などの問題に伴う商店街づくりが求められている。

今後の展開

東京都及びむさし府中商工会議所と協力し、イベントや街路灯等の補助を継続して実施していく。
また、震災の影響等により、電気代の商店会負担が増加している。節電効果や環境に配慮したものにもなるので、街路灯等のLED化に向けた支援を実施していく。また、平成２５年度に改訂を行った商店街振興プランを活用して、更なる商店街振興を図っていく。

６　主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	４か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
商店会振興事業	アドバイザーの派遣を希望する商店会等からの申込に基づき、支援を行っていく。 ▼商店会等アドバイザーの派遣	アドバイザーの派遣を希望する商店会等からの申込に基づき、支援を行っていく。 ▼商店会等アドバイザーの派遣	アドバイザーの派遣を希望する商店会等からの申込に基づき、支援を行っていく。 ▼商店会等アドバイザーの派遣	アドバイザーの派遣を希望する商店会等からの申込に基づき、支援を行っていく。 ▼商店会等アドバイザーの派遣
	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署：生活環境部 経済観光課 事業種別：主要な事務事業 ４か年事業費計（単位：千円）：2,000	26年度は、アドバイザーの派遣を希望する商店会等からの申込がなく、実績は０件であった。国及び都の同様の他制度の充実が図られてきている現状を踏まえ、事業の実施方法等については、今後の検討が必要である。			
府中市特産品等開発支援事業	商業者による新たな府中の特産品の開発への取組に対して支援を行っていく。 ▼名産品開発・発掘事業 ▼市場流通促進事業	商業者による新たな府中の特産品の開発への取組に対して支援を行っていく。 ▼名産品開発・発掘事業 ▼市場流通促進事業	商業者による新たな府中の特産品の開発への取組に対して支援を行っていく。 ▼名産品開発・発掘事業 ▼市場流通促進事業	商業者による新たな府中の特産品の開発への取組に対して支援を行っていく。 ▼名産品開発・発掘事業 ▼市場流通促進事業
	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちょくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署：生活環境部 経済観光課 事業種別：主要な事務事業 ４か年事業費計（単位：千円）：2,344	26年度は、府中産黒米を使用した黒米焼酎「府中ろまんシリーズ」の市場流通促進に対して支援を行うなど、商業者の特産品等の開発を支援することにより、府中市の魅力の向上と商業及び観光の振興を図ることができた。			
商店街振興事業	各事業の実施を希望する商店会等からの申請に基づき、支援を行っていく。 ▼商店街イベント事業補助 ▼商店街活性化事業補助 ▼商店街共同施設電気料補助 ▼商店会街路灯等ＬＥＤ化事業補助	各事業の実施を希望する商店会等からの申請に基づき、支援を行っていく。 ▼商店街イベント事業補助 ▼商店街活性化事業補助 ▼商店街共同施設電気料補助 ▼商店会街路灯等ＬＥＤ化事業補助	各事業の実施を希望する商店会等からの申請に基づき、支援を行っていく。 ▼商店街イベント事業補助 ▼商店街活性化事業補助 ▼商店街共同施設電気料補助 ▼商店会街路灯等ＬＥＤ化事業補助	各事業の実施を希望する商店会等からの申請に基づき、支援を行っていく。 ▼商店街イベント事業補助 ▼商店街活性化事業補助 ▼商店街共同施設電気料補助 ▼商店会街路灯等ＬＥＤ化事業補助
	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちょくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署：生活環境部 経済観光課 事業種別：重点プロジェクト ４か年事業費計（単位：千円）：304,308	商店街イベント事業、商店街活性化事業、商店街共同施設電気料及び商店会街路灯等ＬＥＤ化事業等、市内商店街が行う様々な事業に支援を行うことにより、より一層の商店街の活性化を図ることができた。			

※４か年事業費計は、第６次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。
　また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7　構成事務事業の評価

（単位：円）

	事務事業名	事業種別	人件費事業	H26年度 当初予算額	H26年度 決算額	H27年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業評価/総合評価	
1	商店会振興事業	30		479,000	0	329,000	申請により、商店会等にアドバイザーを派遣して、活性化に向けた取組等を支援する。	B	3
2	商店街振興事業	30		79,867,000	134,013,171	83,911,000	商店会等が行う事業等に補助金を交付する。	A	
3	特産品等開発支援事業	30		544,000	28,000	517,000	商業者による新たな府中の特産品の開発への取組を支援する。	B	1
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
合　　計				80,890,000	134,041,171	84,757,000			

施策評価シート

記載年月	平成27年9月
対象年度	平成26年度

1　施策の名称・めざす姿

施策名	073	工業の育成		
総合計画	基本目標	Ⅳ	人を魅了するにぎわいと活力のあるまち（都市基盤・産業）	主担当部課名：生活環境部 経済観光課
	基本施策	05	商工業の振興	
めざす姿	技術革新や新製品開発、異業種交流、産学交流などを支援することで、技術の向上と経営効率化が図られ、市内工業が活性化し、生産力が向上しています。			

2　事業費・人件費等の推移

（単位：円、人）

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
（事業費）						
当初予算額	13,422,000	13,234,000	12,578,000			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	0	0	0			
市債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	13,422,000	13,234,000	12,578,000			
予算現額	13,422,000	13,234,000	0			
決算額	12,547,405	10,840,777	0			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	1,000,000	0	0			
市債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	11,547,405	10,840,777	0			
執行率	93.5	81.9	0.0			
（人件費）						
職員数	0.89	0.89	0.00			
職員人件費	7,113,208	6,712,129	0			
嘱託員数	3.00	3.00	0.00			
嘱託員人件費	9,714,231	10,052,169	0			
（間接経費）						
間接経費	457,076	325,053	0			
総コスト	29,831,920	27,930,128	0			

3　指標実績の推移等

指標名	基準値（単位）		実績の推移 H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H29年度目標値
①製造品出荷額等の多摩地域26市順位。	1	実績	－	－	－	－	1
	位	達成率	－	－	－	－	
②付加価値額の多摩地域26市順位。	2	実績	4	－	－	－	2
	位	達成率	50.0	－	－	－	
③１事業所当たり付加価値額の多摩地域26市順位。	3	実績	3	－	－	－	3
	位	達成率	100.0	－	－	－	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

指標1については、多摩地域26市のみならず、平成21年度より5年連続で都内第1位を保っている。なお、平成26年度分については、調査結果（「東京の工業」工業統計調査（東京都総務局））の公表が年度明けの5月頃となるため、未入力となっている。

４　施策の進ちょく状況

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
進ちょく状況	目標達成に向け順調に進ちょくしている			
達成できている点	府中市工業技術展（テクノフェア）の開催を行うとともに、異業種交流グループの支援を行った。また、府中市工業技術情報センターにおいて、専門の相談員による技術相談及び技術講習会の開催を行うなど、市内中小企業の製品開発や技術革新の取組の支援を図ることができた。			
達成できていない点				

５　施策の評価

これまでの主な取組と成果

工業技術の向上等に取り組む中小企業者を支援するため、新製品・新技術の開発等への補助を行った。
また、ものづくり産業の活性化を支援するため府中市工業技術展（ふちゅうテクノフェア）の開催、及び東京都の産業交流展へ出展支援を行った。

今後の課題、状況や市民ニーズの変化

産・学・官の連携の推進。また、新製品の開発の資金難や人材難への対応。

今後の展開

府中市工業技術情報センターを活用し、専門の相談員による技術相談と技術情報の提供により、中小企業の製品開発や技術革新を支援する。また、中小企業の優れた技術や製品のPR、受発注の場としての府中市工業技術展の充実などをすすめるとともに、むさし府中商工会議所と連携を深め、技術力・開発力の向上と取引機会の拡大を図っていく。

６　主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	４か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
異業種交流促進事業	市内の異業種の中小企業者等の交流を推進するため、各種事業を実施する。 ▼府中市工業技術展（テクノフェア）の開催 ▼東京都産業交流展への参加 ▼異業種交流グループの支援	市内の異業種の中小企業者等の交流を推進するため、各種事業を実施する。 ▼府中市工業技術展（テクノフェア）の開催 ▼東京都産業交流展への参加 ▼異業種交流グループの支援	市内の異業種の中小企業者等の交流を推進するため、各種事業を実施する。 ▼府中市工業技術展（テクノフェア）の開催 ▼東京都産業交流展への参加 ▼異業種交流グループの支援	市内の異業種の中小企業者等の交流を推進するため、各種事業を実施する。 ▼府中市工業技術展（テクノフェア）の開催 ▼東京都産業交流展への参加 ▼異業種交流グループの支援
所管部署：生活環境部 経済観光課 事業種別：主要な事務事業 ４か年事業費計（単位：千円）：30,256	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちょくしている 工業技術展（テクノフェア）の開催や、東京都産業交流展2014への出展への支援、異業種交流グループに対する支援等、各種事業を実施することで、異業種の多様な企業による交流事業を推進することができた。	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
中小企業工業技術向上支援事業	府中市工業技術情報センターにおいて、専門相談員による技術相談指導等を行うとともに、新製品・新技術開発事業等の経費の一部を補助する。 ▼技術相談指導等の実施 ▼製造業等活性化事業補助	府中市工業技術情報センターにおいて、専門相談員による技術相談指導等を行うとともに、新製品・新技術開発事業等の経費の一部を補助する。 ▼技術相談指導等の実施 ▼製造業等活性化事業補助	府中市工業技術情報センターにおいて、専門相談員による技術相談指導等を行うとともに、新製品・新技術開発事業等の経費の一部を補助する。 ▼技術相談指導等の実施 ▼製造業等活性化事業補助	府中市工業技術情報センターにおいて、専門相談員による技術相談指導等を行うとともに、新製品・新技術開発事業等の経費の一部を補助する。 ▼技術相談指導等の実施 ▼製造業等活性化事業補助
所管部署：生活環境部 経済観光課 事業種別：主要な事務事業 ４か年事業費計（単位：千円）：26,408	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちょくしている 府中市工業技術情報センターにおいて、専門の相談員による技術相談等を行うとともに、新製品・新技術開発事業及び市場開拓事業等に係る経費の一部を補助するなど、市内の中小企業者の製品開発や技術革新の取組を支援することができた。	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署： 事業種別： ４か年事業費計（単位：千円）	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】

※４か年事業費計は、第６次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。
　また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7　構成事務事業の評価

（単位：円）

	事務事業名	事業種別	人件費事業	H26年度 当初予算額	H26年度 決算額	H27年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業評価/総合評価	
1	異業種交流促進事業	30		7,183,000	7,183,000	7,045,000	業種や取扱商品の異なる企業の交流の促進	B	1
2	産業活性化広域連携事業	30		40,000	40,000	40,000	産業振興に係る調査・研究、各種事業の実施、情報の交換等を行うため、各種会議に出席する際の負	B	1
3	中小企業工業技術向上支援事業	30		6,011,000	3,617,777	5,493,000	工業技術の向上等に取り組む中小企業者を支援するとともに、専門の相談員による相談・情報提供を	B	1
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
合　　計				13,234,000	10,840,777	12,578,000			

施策評価シート

記載年月	平成27年9月
対象年度	平成26年度

1　施策の名称・めざす姿

施策名	074	観光資源の活用・創出による地域活性化			
総合計画	基本目標	Ⅳ	人を魅了するにぎわいと活力のあるまち（都市基盤・産業）	主担当部課名	生活環境部 経済観光課
	基本施策	05	商工業の振興		
めざす姿	浅間山、府中崖線、けやき並木や多摩川などの自然環境や歴史的な名所・旧跡、伝統的な催事などの魅力を広く市内外に情報発信をすることで、市内を訪れる観光客が増え、にぎわいのあふれるまちとなっています。				

2　事業費・人件費等の推移

（単位：円、人）

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
（事業費）						
当初予算額	66,771,000	63,531,000	70,562,000			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	1,140,000	0	0			
市債	0	0	0			
その他	731,000	1,097,000	4,184,000			
一般財源	64,900,000	62,434,000	66,378,000			
予算現額	66,771,000	63,531,000	0			
決算額	63,079,260	62,223,527	0			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	1,140,000	0	0			
市債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	61,273,918	61,369,440	0			
執行率	94.5	97.9	0.0			
（人件費）						
職員数	6.66	6.66	0.00			
職員人件費	53,229,171	50,227,842	0			
嘱託員数	0.00	0.00	0.00			
嘱託員人件費	0	0	0			
（間接経費）						
間接経費	1,139,179	971,827	0			
総コスト	117,447,610	113,423,196	0			

3　指標実績の推移等

指標名	基準値（単位）		実績の推移 H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H29年度目標値
①くらやみ祭の来場者数	700,000	実績	750,000	－	－	－	750,000
	人	達成率	100.0	0.0	0.0	0.0	
②郷土の森観光情報センター来場者数	40,623	実績	33,929	－	－	－	42,000
	人	達成率	80.8	0.0	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

指標①については、天候に左右されるが、概ね増加傾向にある。指標②については、やや減少しているため、改善を図りたい。

４　施策の進ちょく状況

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
進ちょく状況	目標達成に向け順調に進ちょくしている			
達成できている点	観光情報センターと観光物産館を観光情報発信の拠点として活用し、観光案内人ボランティアによる各種観光ガイドツアーを実施した。市外でのＰＲ活動を重視し、出向宣伝活動を行っている。			
達成できていない点				

５　施策の評価

これまでの主な取組と成果

観光情報センターと郷土の森観光物産館を観光情報の発信拠点として活用し、府中観光協会と連携しながら、各種観光施策や観光案内人ボランティアによる観光ｶﾞｲﾄﾞツアーを実施した。桜まつり、けやきフェスタについては、天候等によって来場者数に増減が生じるものの、順調に事業を展開している。観光協会では、府中ならではの素材や製法により制作された商品を「観光推奨品」として推奨し、市内外にPRすることで、賑わいのあるまちづくりを進めており、平成26年度末には46品目を推奨品として認定している。

フィルムコミッション事業については、府中市内の観光資源を活かし、撮影を通したPR活動を展開した。

観光行政の広域連携を図るため、「武蔵国」としてつながりの深い国分寺市と連携して観光振興を図っている。本年度は観光に関するアプリ「ぶらり国・府」をリリースし、両市の市制周年にちなんだスタンプラリー「武蔵国を歩こう　スタンプラリー」を開催した。また、観光ガイドブック「国分寺×府中　じゃらん」を増刷した。

市外での府中市のシティセールスを実施するため、都庁の観光ブースにおける特産品の販売、東京ドームにおける「ふるさと祭東京」（会期中来場者約40万人）に「武蔵国府中」として出店を行い、全国からの来場者へのPR及び特産品等の販売を実施した。

市制施行60周年パレードでは、太鼓パレードと民踊流しを実施し、市内外へのＰＲを実施した。

今後の課題、状況や市民ニーズの変化

けやき並木としては国内唯一の、国の天然記念物である「馬場大門のけやき並木」をはじめ、本市には長い歴史と風土に培われた観光資源が多数存在している。これらの観光資源をいかに活用して観光客を増やしていくかが今後の課題である。また、府中市の観光資源の良さを多くの方に知ってもらうため、市内のみならず、市外での情報発信の強化が必要であると認識している。観光客の誘致のためには、府中市単独での活動だけではなく、近隣の市町村と広域的に連携して、対応することが必要である。

また、観光客の受け入れ態勢を強化するため、観光ガイドブックや施設案内看板等の充実、市民や商店・飲食店のおもてなしの気持ちの醸成も併せて必要である。

今後の展開

観光協会・商工会議所等の各種団体と行政、地域が一体となって観光施策を推進し、にぎわいと魅力あるまちづくりを目指す。また、市内のみならず、市外でのＰＲ活動を行うことで観光客の誘客をすすめたい。観光客の消費を喚起できるよう、観光資源と飲食や土産物等の連携を図りたい。また、2019年のラグビーワールドカップ、2020年の東京オリンピックの開催に向けて、インバウンドの強化、外国語表記の充実及び、近隣の市町村や鉄道沿線の自治体との広域連携の強化が必要である。

６　主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	４か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
観光情報施設管理運営事業	観光情報センター・郷土の森観光物産館を拠点とし、府中市の観光情報を発信する。 市外のイベント等に参加し、出向宣伝活動を実施する。	観光情報センター・郷土の森観光物産館を拠点とし、府中市の観光情報を発信する。 市外のイベント等に参加し、出向宣伝活動を実施する。	観光情報センター・郷土の森観光物産館を拠点とし、府中市の観光情報を発信する。 市外のイベント等に参加し、出向宣伝活動を実施する。	観光情報センター・郷土の森観光物産館を拠点とし、府中市の観光情報を発信する。 市外のイベント等に参加し、出向宣伝活動を実施する。
所管部署	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちょくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
生活環境部 経済観光課	観光情報センターおよび郷土の森観光物産館は、市民にも認知され、また、観光情報の発信拠点として順調に機能している。			
事業種別				
主要な事務事業				
４か年事業費計（単位：千円）				
127,088				
観光振興事業	フィルムコミッション事業 イベントへのＰＲブース出展 観光パンフレットの発行 【観光協会事業への補助】 写真コンクールの開催、節分祭等への協賛、ＨＰの運営	フィルムコミッション事業 イベントへのＰＲブース出展 観光パンフレットの発行 【観光協会事業への補助】 写真コンクールの開催、節分祭等への協賛、ＨＰの運営	フィルムコミッション事業 イベントへのＰＲブース出展 観光パンフレットの発行 【観光協会事業への補助】 写真コンクールの開催、節分祭等への協賛、ＨＰの運営	フィルムコミッション事業 イベントへのＰＲブース出展 観光パンフレットの発行 【観光協会事業への補助】 写真コンクールの開催、節分祭等への協賛、ＨＰの運営
所管部署	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちょくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
生活環境部 経済観光課	26年度は、例年の事業の他、京王線の近隣の自治体との連携を図り、協働での観光ＰＲ等の検討を実施し、情報発信力の強化を図っている。			
事業種別				
重点プロジェクト				
４か年事業費計（単位：千円）				
111,218				
所管部署	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
事業種別				
４か年事業費計（単位：千円）				

※４か年事業費計は、第６次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。
　また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7　構成事務事業の評価

（単位：円）

	事務事業名	事業種別	人件費事業	H26年度 当初予算額	H26年度 決算額	H27年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業評価/総合評価	
1	桜まつり運営事業	30		7,012,000	7,008,421	8,011,000	市民のふれあいの場として、市民参加の自らが創造する府中市民桜まつりを実施する。	B	1
2	けやきフェスタ運営事業	30		3,450,000	3,450,000	3,277,000	馬場大門けやき並木等を会場に府中の観光振興及び商店街の活性化を図る事業	C	1
3	観光振興事業	30		26,651,000	26,506,198	33,909,000	観光資源を内外に広くPRし、観光客を誘致し、地域経済の活性化を図る	A	
4	観光情報施設管理運営事業	30		26,418,000	25,258,908	25,365,000		B	1
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
合　　計				63,531,000	62,223,527	70,562,000			

施策評価シート

記載年月	平成27年9月
対象年度	平成26年度

1　施策の名称・めざす姿

施策名	075	消費生活の向上			
総合計画	基本目標	Ⅳ	人を魅了するにぎわいと活力のあるまち（都市基盤・産業）	主担当部課名	生活環境部 経済観光課
	基本施策	05	商工業の振興		
めざす姿	消費生活相談や情報の提供が行われることで、悪質商法などの消費者トラブルや製品事故等のない健全な生活が守られるとともに、環境に配慮した生活スタイルに転換することにより市民生活の向上が図られている。				

2　事業費・人件費等の推移

（単位：円、人）

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
（事業費）						
当初予算額	9,955,000	2,787,000	4,927,000			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	0	0	3,164,000			
市債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	9,955,000	2,787,000	1,763,000			
予算現額	24,586,000	6,668,000	0			
決算額	23,468,169	6,208,437	0			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	15,479,000	4,681,000	0			
市債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	7,989,169	1,527,437	0			
執行率	95.5	93.1	0.0			
（人件費）						
職員数	1.32	1.65	0.00			
職員人件費	10,549,926	12,443,835	0			
嘱託員数	0.00	5.00	0.00			
嘱託員人件費	0	16,753,615	0			
（間接経費）						
間接経費	155,091	555,680	0			
総コスト	34,173,186	35,961,567	0			

3　指標実績の推移等

指標名	基準値（単位）		実績の推移 H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H29年度目標値
①この１年間に消費者トラブルにあったことがある市民の割合	3.1	実績	4.5	－	－	－	2.5
	%	達成率	55.6	－	－	－	
②消費生活展への来場者数	474	実績	362	－	－	－	700
	人	達成率	51.7	0.0	0.0	0.0	
③消費生活講座への参加人数	122	実績	36	－	－	－	200
	人	達成率	18.0	0.0	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

消費生活展については、平成２６年度よりＮＰＯボランティアまつりと同日程としているが、初日が雨天であったことにより来場者数が伸びなかった。また、消費生活講座への参加人数については、本年度も消費生活に関するパネル展等の実施に注力したため、開催回数が予定を下回ってしまったことによるものである。今後も、より効果的な消費者啓発の推進に努めていく。

４　施策の進ちょく状況

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
進ちょく状況	やや遅れているが、概ね順調			
達成できている点	消費生活相談室において、相談日を２３５日開設し、消費生活に関する相談を１，３９２件受付け、解決に努めた。			
達成できていない点	消費生活講座の実施や消費生活展への来場者数については、目標を達成することができなかった。			

５　施策の評価

これまでの主な取組と成果

消費生活相談室において相談日を２３５日開設し、市民からの悪質商法などの消費生活上のトラブルに関する苦情等の相談を１，３９２件受付け、解決に努めた。
また、悪質商法など消費者トラブルの未然防止を図るため、悪質商法の手口など消費生活に関するパネル展を３回開催し啓発に努めるとともに、消費生活展を２日間開催し３６２人の参加により、消費生活に関する知識や意識の向上・啓発を図った。さらに、消費生活啓発資料を５種類９１，８００部発行し、自治会回覧のほか、イベントでの配布などをとおして市民へ最新の情報提供をしながらトラブルの未然防止等に努めた。
また、市民朝市を秋に１回開催し、計３８店の出店と約４，５００人の来場者により、消費者、生産者及び商業者の相互信頼の確保と、地域住民の交流を図った。

今後の課題、状況や市民ニーズの変化

年々巧妙化する悪質商法による被害の未然防止を図るため、より一層の啓発活動に努めるとともに、市民の身近な相談窓口として消費生活相談室の更なる周知と相談体制の充実強化を図っていく。また、地域のネットワークによる消費者教育が重要となることから、各機関との連携体制の構築が必要となっている。

今後の展開

消費生活相談室のさらなる周知を図るとともに、相談体制の充実強化に努め、消費者に対する情報提供や啓発事業を充実させることにより、市民の健全な消費生活の向上を図っていく。また、関係機関、団体等と連携を図り、地域ネットワークを構築することで消費者問題に関するきめ細かな活動を展開することが重要である。

６　主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	４か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
消費者相談・啓発事業	▼消費生活相談室の運営 ・月曜日ー金曜日（休館日除く） ・午前１０時ー午後４時（正午ー午後１時除く） ・１日相談員３名体制 ▼消費生活展の実施 ▼消費生活パネル展の実施	▼消費生活相談室の運営 ・月曜日ー金曜日（休館日除く） ・午前１０時ー午後４時（正午ー午後１時除く） ・１日相談員３名体制 ▼消費生活展の実施 ▼消費生活パネル展の実施	▼消費生活相談室の運営 ・月曜日ー金曜日（休館日除く） ・午前１０時ー午後４時（正午ー午後１時除く） ・１日相談員３名体制 ▼消費生活展の実施 ▼消費生活パネル展の実施	▼消費生活相談室の運営 ・月曜日ー金曜日（休館日除く） ・午前１０時ー午後４時（正午ー午後１時除く） ・１日相談員３名体制 ▼消費生活展の実施 ▼消費生活パネル展の実施
所管部署 生活環境部 経済観光課 事業種別 主要な事務事業 ４か年事業費計（単位：千円） 41,764	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちょくしている ▼消費生活相談室の運営 ・月曜日ー金曜日（休館日除く） ・午前１０時ー午後４時（正午ー午後１時除く） ・１日相談員３名体制 ・相談件数１，３９２件 ▼消費生活展を実施した。（８団体・３６２名） ▼消費生活パネル展などを実施した。	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署 事業種別 ４か年事業費計（単位：千円）	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署 事業種別 ４か年事業費計（単位：千円）	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】

※４か年事業費計は、第６次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。
　また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7　構成事務事業の評価

（単位：円）

	事務事業名	事業種別	人件費事業	H26年度 当初予算額	H26年度 決算額	H27年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業評価/総合評価	
1	消費者相談・啓発事業	10		2,402,000	5,823,852	4,562,000	消費生活相談室の運営及び消費生活に関する啓発活動	B	1
2	市民朝市運営事業	30		385,000	384,585	365,000	市民朝市開催に伴う運営	D	2
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
合　　計				2,787,000	6,208,437	4,927,000			

施策評価シート

記載年月	平成27年9月
対象年度	平成26年度

1　施策の名称・めざす姿

施策名	076	農地の保全、府中産農産物の流通拡大と担い手の育成			
総合計画	基本目標	Ⅳ	人を魅了するにぎわいと活力のあるまち（都市基盤・産業）	主担当部課名	生活環境部 経済観光課
	基本施策	06	都市農業の育成		
めざす姿	農業者は地域に開いた農業活動を展開し、市民は積極的に農業に関するボランティア活動に参加していきます。これにより、生産活動以外も含めた農業の多面的機能が活用され、市内の農地が保全されています。また、安全で新鮮な農産物が直売所等に出荷され、多くの市民がその農産物を消費しています。				

2　事業費・人件費等の推移

（単位：円、人）

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
（事業費）						
当初予算額	50,241,000	70,121,000	64,237,000			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	0	21,273,000	18,645,000			
市債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	50,241,000	48,848,000	45,592,000			
予算現額	50,244,000	102,032,068	0			
決算額	47,807,189	88,780,002	0			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	0	38,675,511	0			
市債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	47,807,189	50,104,491	0			
執行率	95.2	87.0	0.0			
（人件費）						
職員数	4.81	5.05	0.00			
職員人件費	38,443,290	38,085,676	0			
嘱託員数	0.00	0.00	0.00			
嘱託員人件費	0	0	0			
（間接経費）						
間接経費	288,212	397,151	0			
総コスト	86,538,691	127,262,829	0			

3　指標実績の推移等

指標名	基準値（単位）		実績の推移 H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H29年度目標値
①生産緑地の面積	105.6	実績	100.97	－	－	－	92.3
	ha	達成率	91.4	－	－	－	
②認定農業者数	96	実績	109	－	－	－	105
	人	達成率	103.8	0.0	0.0	0.0	
③直売所等へ出荷している農家の割合	51	実績	－	－	－	－	58
	%	達成率	0.0	0.0	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

生産緑地は相続が関係し、徐々に減りつつある。認定農業者については、共同申請による家族の認定を勧奨したことで増加した。直売は農林業センサスの統計結果を基礎とするため今年度の実績は空欄である。

4　施策の進ちょく状況

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
進ちょく状況	目標達成に向け順調に進ちょくしている			
達成できている点	今後の施策を進めるための第3次農業振興計画を策定した。 各種補助事業を展開し、農業者の経営向上が順調に進んでいる。			
達成できていない点	農業委員会委員の改選のタイミングもあり、地域座談会の開催を見送ったため、次年度での開催を進める。			

5　施策の評価

これまでの主な取組と成果

都市農地には、農産物を生産する以外にも多面的な役割があり、市街化区域の都市空間には必要不可欠なものである。都市農地を保全し、次世代に継承するためには、魅力ある農業施策を推進するとともに、農業後継者を育成することが重要である。市ではこのことを踏まえ、さまざまな側面から市内の農家を支援してきており、農業者の営農意欲を向上させて農地の保全に寄与してきた。
農産物の直売所を示したマップを作成し、市内の庭先直売所や共同直売所の周知に努めた。
府中の特産品に関しては、生椎茸や黒米、黒米うどん等が、府中観光協会の推奨品として認定を受けている。
地場産農産物の人気の高まりを背景に、市内のスーパーマーケットなどでも農産物直売所を設置する店舗が増えてきた。
また、体験農園の整備について、補助金を交付することで、農業者の市民への農産物の提供の一助とするとともに、農業とのふれあいの場の創出を支援した。
農業生産団体に対し、生産資材・出荷資材等の共同購入に係る経費を補助し、府中産農産物の流通を図った。

今後の課題、状況や市民ニーズの変化

一度、他の用途に転用された農地は、再び農地に戻ることはほとんどない。今後も限られた農地を保全していくため、また農業者にとって魅力ある農業施策をさらに推進していく必要がある。
平成26年度には共同直売所が４か所あるが、季節による出荷数や立地条件から日によって売上に波がある。今後も消費者のニーズを的確に捉えた運営が必要となる。また、府中駅周辺再開発の流れの中で移転する可能性のある直売所がある。

今後の展開

認定農業者への支援や直売所などの支援を充実させ、農業経営を振興させることにより、農業者の農地の保全をできる限り図りたい。
新たな農産物特産品の開発だけではなく、元々ある農産物のうね売りでの販売を拡充させるとともに、直売所マップを充実させ、農産物の販売拡大を進めて、地産地消を推進していく。

６　主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	４か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
農業委員会運営事業	▼総会を開催し、農地法等に基づく申請等を審議する。 ▼農地パトロールを実施し、農地の適切な肥培管理を指導する。 ▼地域座談会の開催や農業委員会だよりの発行により、農業振興の啓発を行う。	▼総会を開催し、農地法等に基づく申請等を審議する。 ▼農地パトロールを実施し、農地の適切な肥培管理を指導する。 ▼地域座談会の開催や農業委員会だよりの発行により、農業振興の啓発を行う。	▼総会を開催し、農地法等に基づく申請等を審議する。 ▼農地パトロールを実施し、農地の適切な肥培管理を指導する。 ▼地域座談会の開催や農業委員会だよりの発行により、農業振興の啓発を行う。	▼総会を開催し、農地法等に基づく申請等を審議する。 ▼農地パトロールを実施し、農地の適切な肥培管理を指導する。 ▼地域座談会の開催や農業委員会だよりの発行により、農業振興の啓発を行う。
所管部署	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちょくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
農業委員会事務局	▼総会を13回開催し、農地法に基づく審議ができた。 ▼農地パトロールを実施し、不適切な農地を指導するなど、適切な農地管理を推進した。			
事業種別				
主要な事務事業				
４か年事業費計（単位：千円）				
58,000				
農業者支援事業	▼次期農業振興計画を策定する。 ▼農業経営改善計画の認定を進め、認定農業者の人数を上げる。 ▼ハウス等の施設の設置や農業用機械の購入事業に対し補助することで、農業者の経営改善や向上を図る。 ▼農作物加害獣の駆除を進める。	▼農業経営改善計画の認定を進め、認定農業者の人数を上げる。 ▼ハウス等の施設の設置や農業用機械の購入事業に対し補助することで、農業者の経営改善や向上を図る。 ▼農作物加害獣の駆除を進める。	▼農業経営改善計画の認定を進め、認定農業者の人数を上げる。 ▼ハウス等の施設の設置や農業用機械の購入事業に対し補助することで、農業者の経営改善や向上を図る。 ▼農作物加害獣の駆除を進める。	▼農業経営改善計画の認定を進め、認定農業者の人数を上げる。 ▼ハウス等の施設の設置や農業用機械の購入事業に対し補助することで、農業者の経営改善や向上を図る。 ▼農作物加害獣の駆除を進める。
所管部署	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちょくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
生活環境部 経済観光課	▼市民の参画も得ながら第3次農業振興計画を策定した。 ▼共同申請を勧めることで、認定農業者の人数を増やすことができた。 ▼施設設置等へ補助することで農業者の経営向上、経営改善を図ることができた。			
事業種別				
主要な事務事業				
４か年事業費計（単位：千円）				
59,980				
所管部署	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
事業種別				
４か年事業費計（単位：千円）				

※４か年事業費計は、第６次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。
　また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7　構成事務事業の評価

（単位：円）

	事務事業名	事業種別	人件費事業	H26年度 当初予算額	H26年度 決算額	H27年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業評価/総合評価	
1	農業委員会運営事業	20		14,550,000	17,574,329	15,168,000	農業委員会の運営	B	1
2	負担金　東京都農業会議賛助員拠出金	10		409,000	408,300	407,000	東京都農業会議への賛助員拠出金を支出する。	B	1
3	農業協力委員活動事業	30		3,024,000	2,808,000	3,024,000	市と農家の橋渡しとして、市が行う農業行政の周知や農家の情報を市に報告する。	B	1
4	負担金　都市農地保全推進自治体協議会	30		20,000	20,000	20,000	都市農地保全推進自治体協議会への運営負担金の支出	B	1
5	灌漑用水対策事業	30		5,038,000	4,458,201	5,628,000	用水組合に対し、揚水ポンプ稼働に係る電気料、取水施設改修に係る経費を補助する。	B	1
6	農業者支援事業	20		35,864,000	52,887,369	29,299,000	農業者に対し経営向上のための補助をするとともに、認定農業者制度や獣害対策を実施する。	A	
7	循環型農業普及事業	30		2,072,000	1,953,235	1,968,000	農業者への堆肥・緑肥の配布	B	3
8	農産物特産化事業	30		256,000	244,068	239,000	農産物直売所マップの作成、うね売り斡旋事業による地場産農作物のＰＲ	B	1
9	農業生産団体育成事業	30		6,802,000	6,802,000	6,461,000	農業生産団体の種苗類や生産出荷資材の共同購入事業への補助金交付	C	1
10	地産地消推進事業	30		2,086,000	1,624,500	2,023,000	地産地消を推進するための事業に対する補助金の支出	B	1
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
合　計				70,121,000	88,780,002	64,237,000			

施策評価シート

記載年月	平成27年9月
対象年度	平成26年度

1　施策の名称・めざす姿

施策名	077	農業とふれあう機会の拡充			
総合計画	基本目標	Ⅳ	人を魅了するにぎわいと活力のあるまち（都市基盤・産業）	主担当部課名	生活環境部 経済観光課
	基本施策	06	都市農業の育成		
めざす姿	農業の多面的機能の一つとしてのコミュニティ機能が活用され、市民が農業とふれあい、積極的に農業と関わる生活を送っています。				

2　事業費・人件費等の推移

（単位：円、人）

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
（事業費）						
当初予算額	13,006,000	12,937,000	13,336,000			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	0	0	486,000			
市債	0	0	0			
その他	3,569,000	5,572,000	7,246,000			
一般財源	9,437,000	7,365,000	5,604,000			
予算現額	13,181,000	12,931,000	0			
決算額	11,409,216	12,231,206	0			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	1,000,000	507,000	0			
市債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	7,420,816	6,406,406	0			
執行率	86.6	94.6	0.0			
（人件費）						
職員数	1.57	2.00	0.00			
職員人件費	12,548,018	15,083,436	0			
嘱託員数	0.00	0.00	0.00			
嘱託員人件費	0	0	0			
（間接経費）						
間接経費	184,460	151,034	0			
総コスト	24,141,694	27,465,676	0			

3　指標実績の推移等

指標名	基準値（単位）		実績の推移 H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H29年度目標値
①市内に開設された市民農園の区画数	1,948 区画	実績	1,559	－	－	－	2,000
		達成率	78.0	0.0	0.0	0.0	
②農業体験を取り組んでいる小学校数	14 校	実績	15	－	－	－	20
		達成率	75.0	0.0	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

平成２６年度に２農園の廃園があったことや、面積の大きい区画を増やしたことにより全体の区画数は減少している。

4　施策の進ちょく状況

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
進ちょく状況	目標達成に向け順調に進ちょくしている			
達成できている点	イベントとしての農業まつりや、体験講座としての市民農業大学や親子ふれあい農園を予定どおり開催し、市民が農業とふれあう機会の提供が順調に進んでいる。			
達成できていない点	市民農園に関して、土地所有者の高齢化に伴い、相続等により農地を返還せざるを得ない状況にあり、区画数の維持が厳しい状況となっている。			

5　施策の評価

これまでの主な取組と成果

　農業まつりや各種農業体験事業を通じて、市民が農業にふれることにより、農業に対する意識が醸成され、都市農業に対する理解増進と健康でゆとりのある生活の涵養に寄与した。
　また、市民農園維持管理事業では、野菜作りをとおして自然と接し、健康でゆとりのある生活が送れるよう市民農園の維持管理を行ったほか、巡回指導を含む栽培指導を実施した。

今後の課題、状況や市民ニーズの変化

各事業の参加者にはリピーターも少なからずいるので、過去に農業にふれたことがない方や関心を持たない方などに対して積極的に参加を促したいが、実施場所（農地）の確保が難しくなってきている。
また、市民農園については利用希望者が多く市民ニーズの高い事業であるが、土地所有者の高齢化が進んでおり、用地の維持・確保が課題となっている。

今後の展開

都市農業について広く市民の理解を得るとともに、地域に根差した都市農業を推進するため、市民が広く農業とふれあう機会をさらに拡充する。

６　主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	４か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
農業まつり運営事業	▼市民と農業者とのふれあいの場として農業まつりを開催する。 ▼各種農産物の品評会を開催し、農業者の生産意欲の向上と、市民の農産物のＰＲを行う。	▼市民と農業者とのふれあいの場として農業まつりを開催する。 ▼各種農産物の品評会を開催し、農業者の生産意欲の向上と、市民の農産物のＰＲを行う。	▼市民と農業者とのふれあいの場として農業まつりを開催する。 ▼各種農産物の品評会を開催し、農業者の生産意欲の向上と、市民の農産物のＰＲを行う。	▼市民と農業者とのふれあいの場として農業まつりを開催する。 ▼各種農産物の品評会を開催し、農業者の生産意欲の向上と、市民の農産物のＰＲを行う。
所管部署	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちょくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
生活環境部 経済観光課	▼農業まつりには、多くの市民の来場があり、農とのふれあいが図れた。 ▼6部門の品評会を開催し、優秀な農産物を市民にＰＲすることができた。			
事業種別				
主要な事務事業				
４か年事業費計（単位：千円）				
15,228				
子ども農業体験推進事業	▼親子で参加できる体験講座の親子ふれあい農園や農魚プチ講座を開催する。 ▼小学校において農業者を講師に、農業体験の事業を行う。	▼親子で参加できる体験講座の親子ふれあい農園や農魚プチ講座を開催する。 ▼小学校において農業者を講師に、農業体験の事業を行う。	▼親子で参加できる体験講座の親子ふれあい農園や農魚プチ講座を開催する。 ▼小学校において農業者を講師に、農業体験の事業を行う。	▼親子で参加できる体験講座の親子ふれあい農園や農魚プチ講座を開催する。 ▼小学校において農業者を講師に、農業体験の事業を行う。
所管部署	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちょくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
生活環境部 経済観光課	▼親子ふれあい農園、農業プチ講座を開催し、家族での農業への理解を深めていただいた。 ▼小学校における、稲作やサツマイモ栽培を通じて、農業の大変さ、食の大切さを体験してもらえた。			
事業種別				
主要な事務事業				
４か年事業費計（単位：千円）				
9,880				
市民農園維持管理事業	▼市民農園の維持管理 ・２３農園	▼市民農園の維持管理 ・２１農園	▼市民農園の維持管理 ・２１農園	▼市民農園の維持管理 ・２３農園
所管部署	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
生活環境部 経済観光課	▼市民農園の維持管理 （２１農園） ・年度中に２農園が廃園となっている。			
事業種別				
主要な事務事業				
４か年事業費計（単位：千円）				
24,108				

※４か年事業費計は、第６次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。
　また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7　構成事務事業の評価

（単位：円）

	事務事業名	事業種別	人件費事業	H26年度 当初予算額	H26年度 決算額	H27年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業評価/総合評価	
1	農業まつり運営事業	30		3,422,000	3,320,988	3,316,000	農業まつり、農産物品評会、農業振興褒賞式典の開催	B	1
2	市民農業大学運営事業	30		620,000	620,000	589,000	農業者を講師として、農産物の播種から収穫までの農業体験講座を実施する。	B	1
3	子ども農業体験推進事業	30		2,210,000	2,204,000	2,240,000	農業者を講師に、市内の小学生等に対して農業体験講座を実施する。	B	1
4	市民農園維持管理事業	30		6,685,000	6,086,218	7,191,000	市民農園の運営・管理	B	1
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
合　　計				12,937,000	12,231,206	13,336,000			